

# LaboExpressSuper 数ぐるめⅢ

使用説明書

© Copyright 2005-2013 株式会社 ウイスタ

本ドキュメントに関する著作権は、株式会社 ウイスタへ独占的に帰属します。株式会社 ウイスタが事前に承諾している場合を除き、本ドキュメント全体又は一部の文章や図などを複製する事は禁じられています。

本取り扱い説明書を作成するにあたり細心の注意を払っていますが、記述の誤りや欠落があっても株式会社 ウイスタはいかなる責任も負わないものとします。

本説明書に記述されている各社の社名、製品名やサービス名は、各社の商標又は登録商標です。

# 目次

LaboExpress Super 数ぐるめⅢ のインストール.....	4
インストールの前に .....	5
1. プログラムのインストール .....	5
2. オンライン認証 .....	10
3. シリアルNo. について .....	13
4. 基本的な使い方 .....	14
① 起動 .....	14
② プロジェクトの作成 .....	15
③ 連番ファイルの作成 .....	19
④ インデックス写真の作成 .....	22
⑤ Web 用画像の作成 .....	29
⑥ 写真注文の入力 .....	31
⑦ 注文別の画像(写真)の保存 .....	37
5. フォルダ構成や設定ファイル .....	41
① プログラムのインストール先フォルダ .....	41
② メインメニューとの関連 .....	42
③ 設定ファイル .....	42
④ 保存先フォルダの構成 .....	45
⑤ 保存先フォルダの共有方法 .....	46
6. こんな時には .....	51
① 不要なプロジェクト履歴を削除したい .....	51
② プロジェクトを全て削除したい .....	52
7. 付属ツール .....	53
写真トリミングツール .....	53
楽々！集合写真 Express バンドル版 .....	54
① 起動 .....	54
② 写真の選択 .....	55
③ 保存先フォルダの選択 .....	55
④ 用紙の選択 .....	56
⑤ タイトル文字列の設定 .....	57
⑥ 文字入れ処理を実行して画像ファイルを保存 .....	58
⑦ メニュー .....	59
⑧ オプション .....	59
⑨ 設定 .....	60
奥付 .....	61

### インストールの前に

- ① 動作環境を確認してください。

**Core2Duo 2.0GHz** 以上又は互換 CPU

**Windows2000 / XP** 搭載メモリ 1Gバイト以上 2Gバイト以上推奨

**WindowsVista / 7 / 8** 搭載メモリ 2Gバイト以上 3Gバイト以上推奨

インターネットへの接続が可能になっている事。(認証に必要です。)  
(ブラウザによるホームページの閲覧が出来る環境を用意してください。)

コニカミノルタ又はフジカラーなどのデジタル現像機とネットワークで接続されていて、このソフトウェアをインストールするパソコンに共有フォルダが設定されている必要があります。

- ご注意** 絶対に現像機内のコンピューターにインストールを行わないでください。  
現像機が正常に動作しなくなる可能性があります。

- ② このソフトウェアを扱うには以下の **Windows** についての知識が必要です。  
不明な点についてはOSのマニュアルや市販の書籍を良くお読みください。

・**Windows** の基本的操作

**Windows** の起動とシャットダウンの操作

プログラムの起動・終了

コンボボックスやテキストボックスの操作

IME(日本語入力)のON/OFFの操作

エクスプローラーを使ってのファイルやフォルダのコピーや移動・削除など

- ・メモ帳などのエディタでの、書式の設定や印刷の操作
- ・ローカルネットワークの設定やフォルダの共有設定

- ご注意** 上記のような Windows についてのトラブル・ご質問はサポート外とさせていただきます。

### ※ 旧バージョンからのアップグレードについて

旧バージョンの[Super 数ぐるめⅢ]がインストールされている場合、旧バージョンのライセンス認証の残り回数を当バージョンへ繰り越す事が可能です。

旧バージョンの認証回数が1回の場合: **3**回分を繰越

旧バージョンの認証回数が2回の場合: **2**回分を繰越

旧バージョンの認証回数が3回の場合: **1**回分を繰越

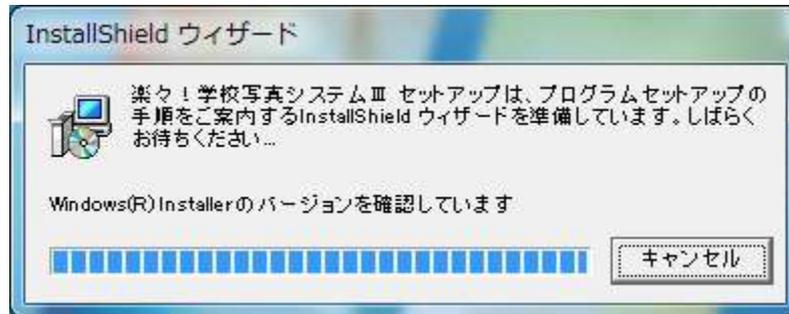
繰り越した場合、旧バージョンは新たに認証することは出来なくなります。  
(既に認証済の旧バージョンを使用することは出来ます。)

旧バージョンも使い続ける場合には当バージョンを別の PC へインストールするか、新しいユーザーを作成してログインしてから認証を行ってください。  
なお旧バージョンを事前にアンインストールする必要はありません。

## 1. プログラムのインストール

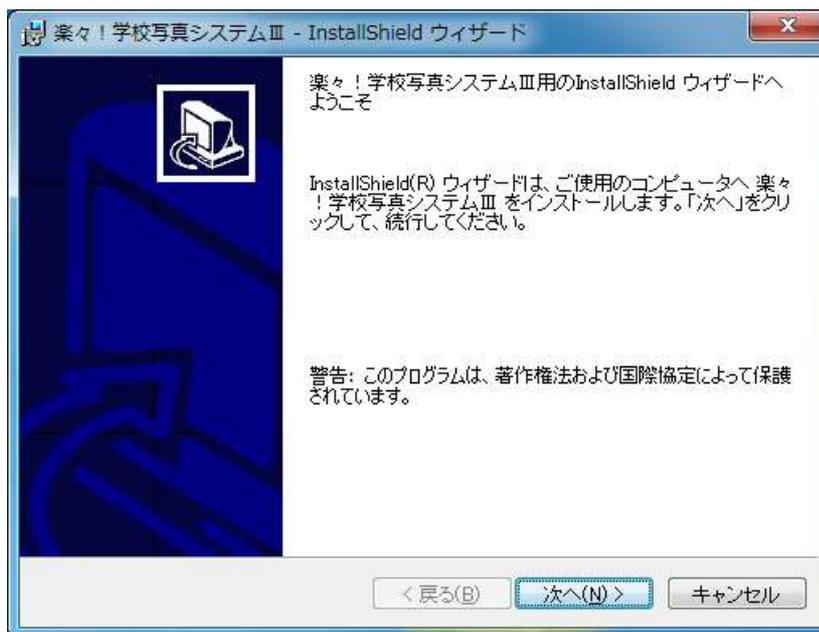
インストール CD を CD-ROM ドライブ にセット します。

- (1) インストーラー が自動的に起動 します。



自動起動しない場合は CD-ROM 内の [SETUP.EXE] (又は SETUP) をダブルクリックしてインストーラーを起動 します。

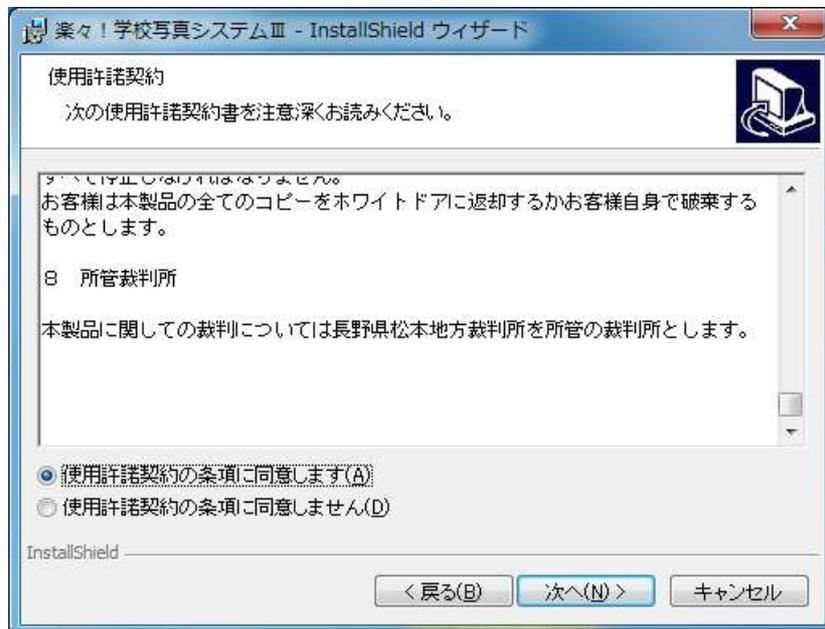
- (2) セットアップが開始 されます。図の画面になったら [次へ] ボタンをクリックしてください。



(3) 使用許諾契約を確認します。

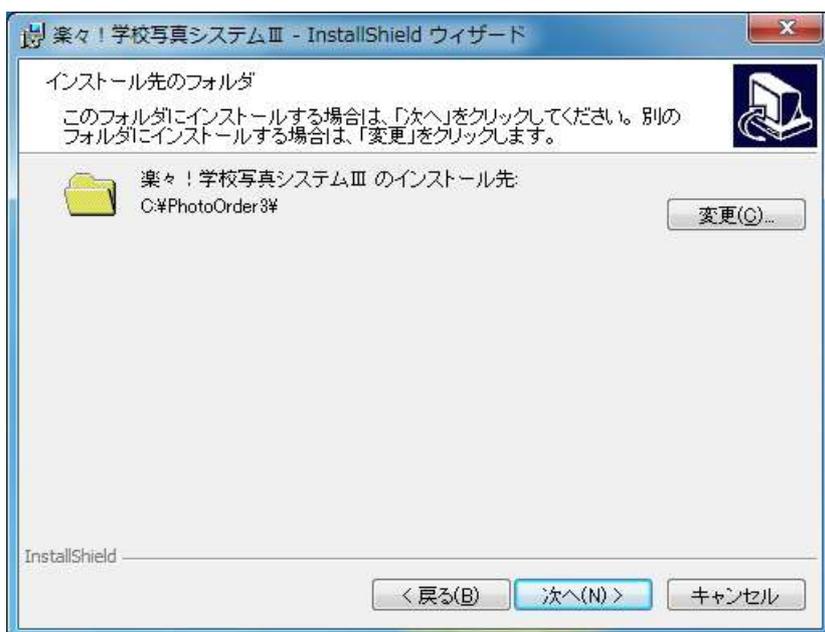
最後までよくお読みになり同意された場合は [使用許諾契約の条項に同意します] にチェックして [次へ] ボタンをクリックします。

同意出来ない場合は [キャンセル] ボタンを押してインストーラーを終了してください。

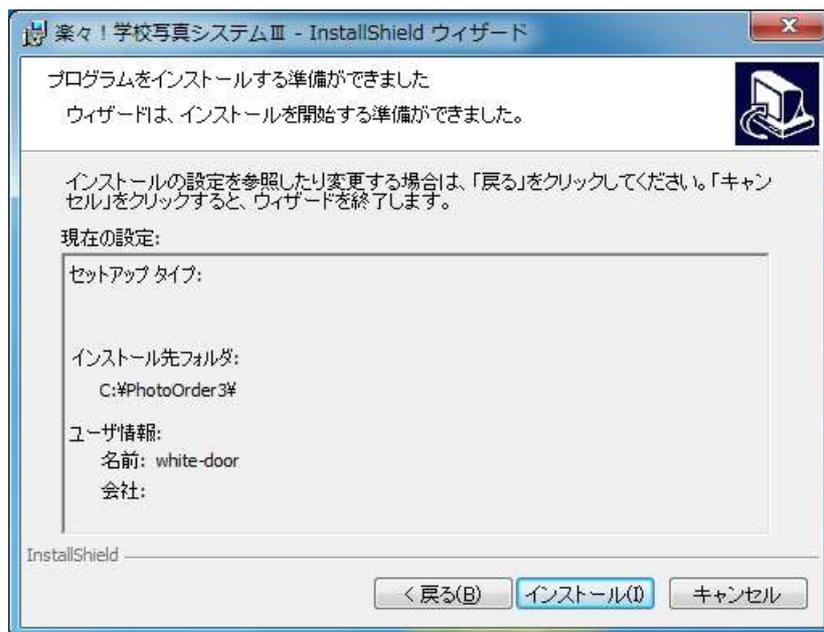


(4) インストール先を選択します。初期設定では [ C: ¥PhotoOrder3KZ ] です。

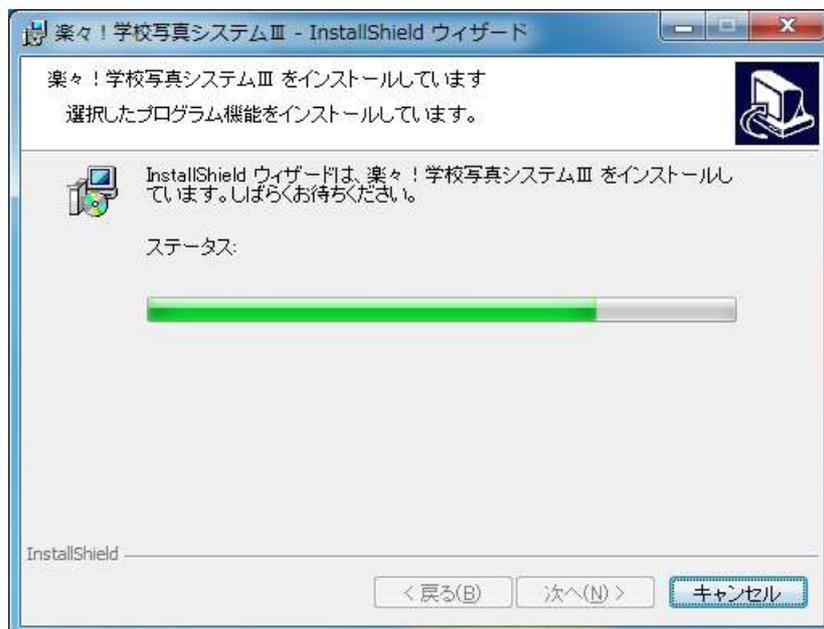
特に理由が無い限りはそのまま [次へ] ボタンを押して進んでください。



(5) 確認画面になります。問題が無ければ [インストール] ボタンを押して進んでください。



(6) インストールが行われます。そのままお待ちください。

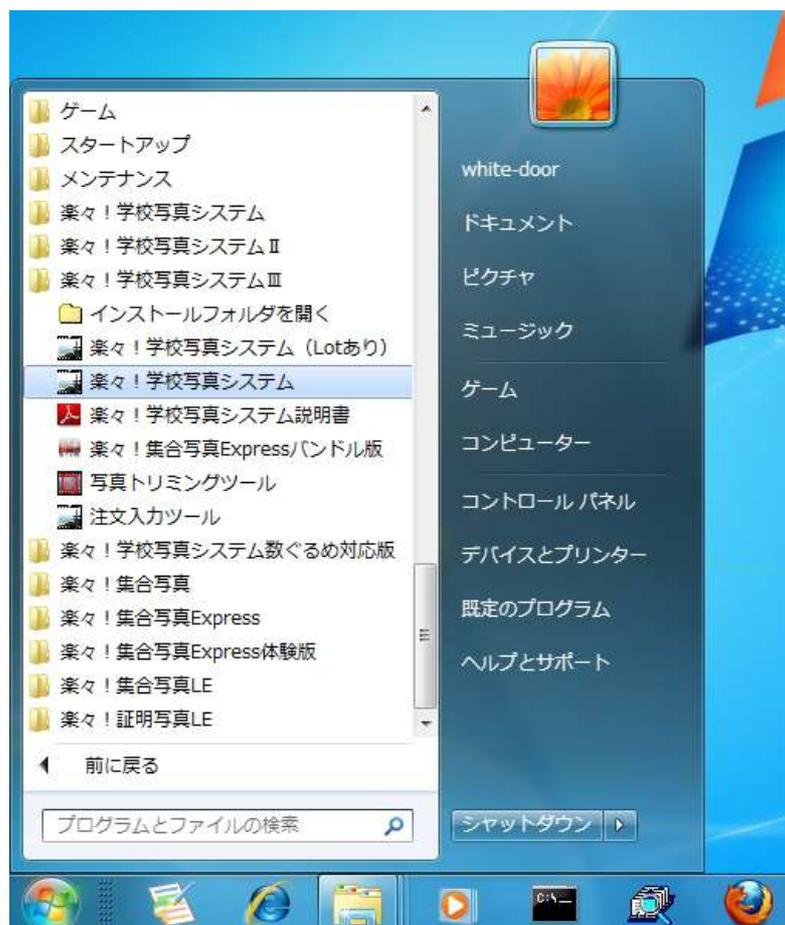


(7) インストールが完了します。

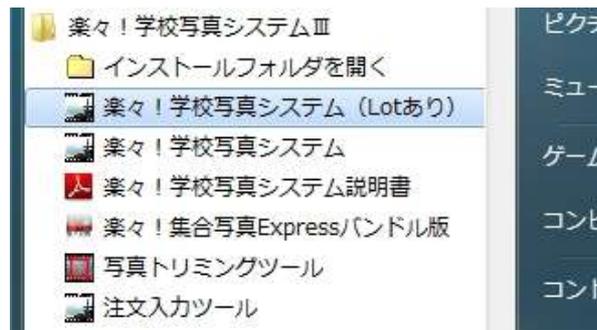
[完了] ボタンを押してインストーラーを終了します。



インストールが完了するとスタートメニューに[LaboExpress Super 数ぐるめⅢ] メニューが追加されます。



サブメニューは以下のように6つ登録されています。



[インストールフォルダを開く]

注文入力プログラムをコピーする場合や設定ファイルを編集・削除する場合にインストール先フォルダを開きます。

[Super 数ぐるめⅢ]

通常はこれを使用します。

[Super 数ぐるめⅢ取扱説明書]

このドキュメントのPDF版を開きます。  
開くには Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

[楽々！集合写真 Express バンドル版]

集合写真の文字入れソフトの制限版です。

[写真トリミングツール]

写真のリサイズやトリミングを行うツールです。

## 2. オンライン認証

初めてプログラムを起動すると以下のようなオンライン認証画面が出てきます。

ソフトウェア使用許諾契約書 を良くお読みください。

The screenshot shows a dialog box titled "Case-by-Case School Photo System III Version Upgrade Registration". It contains several input fields: "Registration Store Name", "Serial No.", "Old Serial No.", "Contact Phone Number", and "Usage License Code". To the right of these fields are three buttons: "Register" (with a checkmark icon), "Offline Authentication", and "Cancel" (with a red X icon). Below the input fields is a scrollable text area containing the "Software License Agreement". The agreement text states that the software is the property of Whiteboard Co., Ltd. and that users must agree to the license terms before installation and use. It also lists conditions of the license, such as the user retaining ownership of the software and the manufacturer's copyright.

登録作業の前にあらかじめインターネットに接続しておいてください。

コンピューターがインターネットに接続出来ない環境の場合は、携帯電話などと通信アダプタケーブルで接続してインターネットに繋いでおく必要があります。  
通信アダプタケーブルは携帯電話会社やサードパーティー各社から発売されています。

セキュリティーの問題などでインターネットに接続出来ない場合はオフライン認証を行う事も可能です。

## (1) オンライン認証

登録店名	<input type="text"/>
シリアルNo.	<input type="text"/>
旧版のシリアルNo.	<input type="text"/>
連絡先電話番号	<input type="text"/>
使用許諾コード	<input type="text"/>

上から4つの入力項目にそれぞれ入力を行います。

- 登録店名**                    お店又は会社名を全角 8 文字以上で入力します。
- シリアル No.**                このソフトウェアのパッケージ又はCD-ROMケースなどに貼られている12桁のナンバーを半角英数文字で入力します。
- 旧シリアル No.**            旧バージョンのシリアル No.です。
- 連絡先電話番号**           必要な場合に連絡をする為の電話番号です。店舗の固定電話か担当者の携帯電話番号などを入力します。(例: 0263-12-3456 )
- 使用許諾コード**           オフライン認証の場合に使用します。最初は必ず空欄にしておきます。

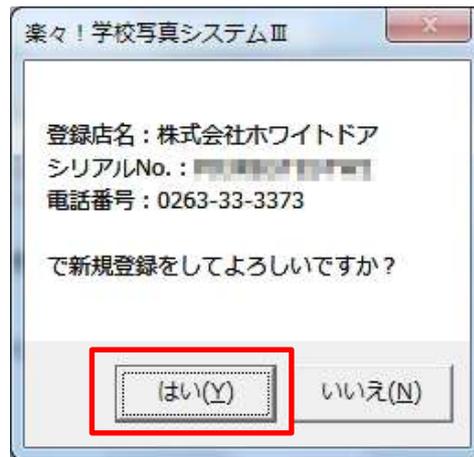
■**ご注意**                    既にオンライン認証を行った事がある場合は必ず以前と同じ登録店名と電話番号を入力してください。

入力情報はインストール後にヘルプメニューのバージョン情報で確認出来ます。

使用許諾コード以外の欄に全部入力すると **[登録]** ボタンが有効になります。

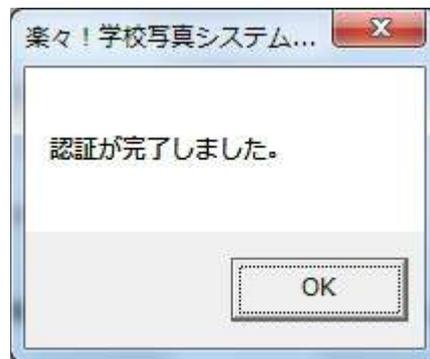


[登録] ボタンをクリックすると下の確認ダイアログが表示されます。

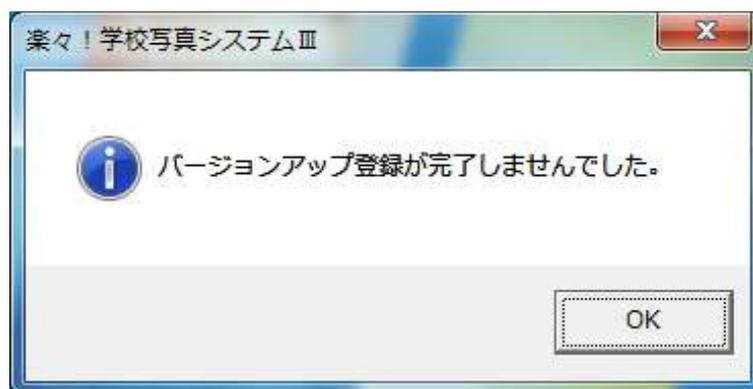


[はい] をクリックするとオンライン認証サーバーに接続されます。

登録が完了すると「認証が完了しました。」というダイアログボックスが表示されます。



シリアルコードが合っていなかったり登録回数が限度回数を超えた場合、又はサーバーやネットワークに問題があってサーバーに接続出来なかった場合に以下のようなダイアログが表示されます。



もし、[登録] ボタンをクリックしてしばらく待っていても変化が無い場合は[キャンセル] ボタンを押してキャンセルして、時間を空けて再試行してください。

オンライン認証が完了していない場合はプログラムは終了します。

## (2) オフライン認証

上記(1)と同様に登録店名、シリアル No.、旧シリアル No.、連絡先電話番号 を入力します。次に[オフライン認証] ボタンをクリックします。

'オフライン認証情報.txt'がインストール先フォルダに出力されます。このテキストファイルを印刷してFAXか、Eメールに添付して(株)ウイスタまでお送りください。2～5営業日中に使用許諾コードをお送りします。

再度上記(1)と同様に登録店名、シリアル No.、連絡先電話番号、使用許諾コード を入力して[オフライン認証] ボタンをクリックすると入力が入力が正しければ登録が完了します。

### ■個人情報の取り扱いについて

登録時に入力していただく情報は細心の注意を払って管理されます。入力していただいた項目とコンピュータのネットワーク上での識別情報以外は一切送信されません。

## 3. シリアルNo. について

このソフトウェアのパッケージ又はCD-ROMケースなどに貼られている12桁のナンバーです。

シリアル No.はパッケージ毎に固有の番号です。お客様がオンライン認証を行うのに必要な大事な番号ですので盗難にあたり紛失しないように大事に保管してください。

使用許諾契約書にあるように1つのシリアル No.で合計4回まで認証が行えますが、この回数を超えると追加ライセンスを購入していただく事になります。

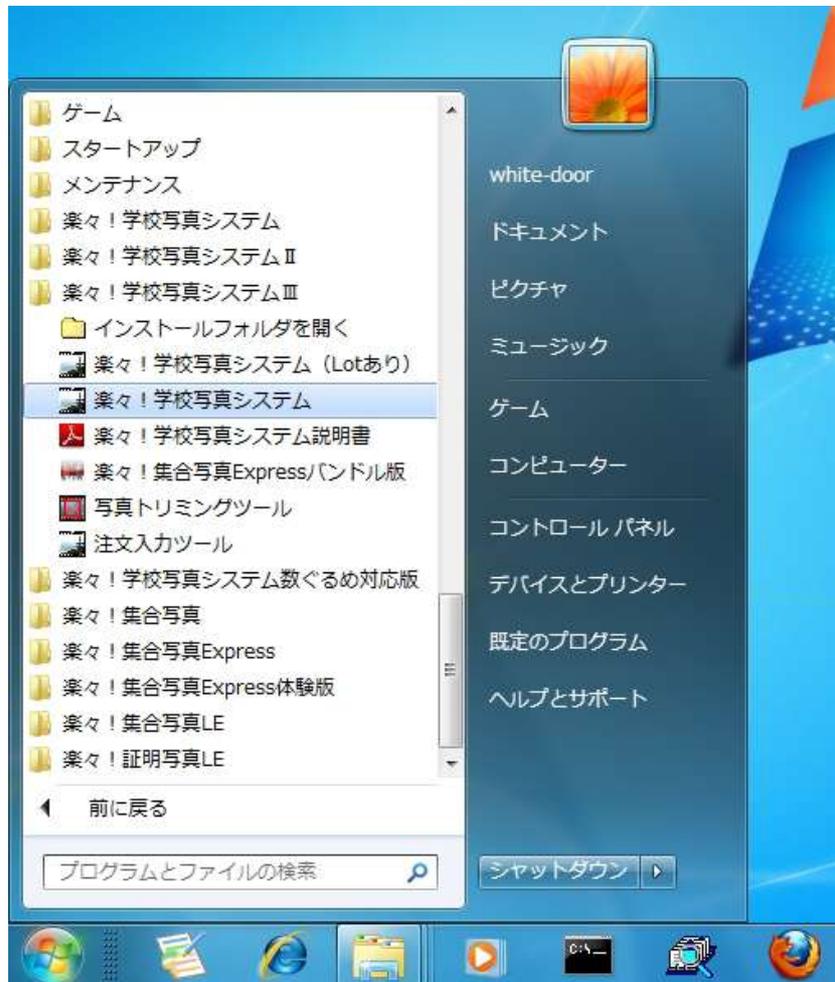
4回の制限回数は1台のパソコンにインストールを行って、パソコンの買い替えなどの理由での4回の再インストールを想定して設定されています。これを超えて認証をする事ができません。

**※ 使わないパソコンにテストでインストールして認証した場合でもカウントされますのでご注意ください。**

## 4. 基本的な使い方

### ① 起動

[LaboExpress Super 数ぐるめⅢ] を [スタート] ⇒ [プログラム] ⇒ [LaboExpress Super 数ぐるめⅢ] ⇒ [Super 数ぐるめⅢ] と辿ってメニューを開きクリックして起動します。

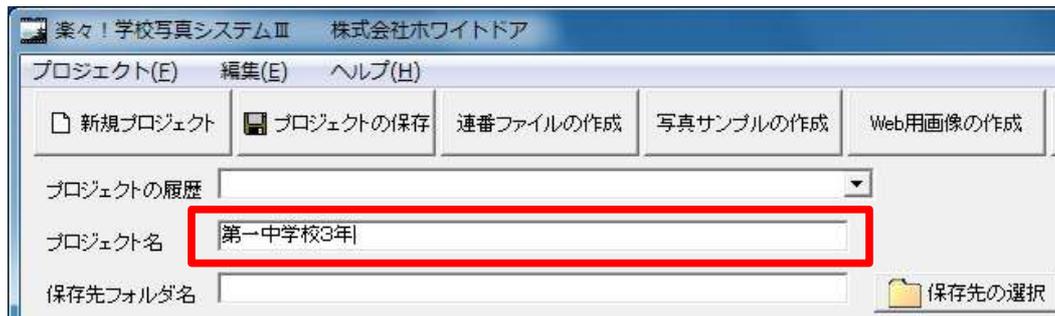


またはデスクトップの [Super 数ぐるめⅢ] へのショートカットをダブルクリックして起動します。

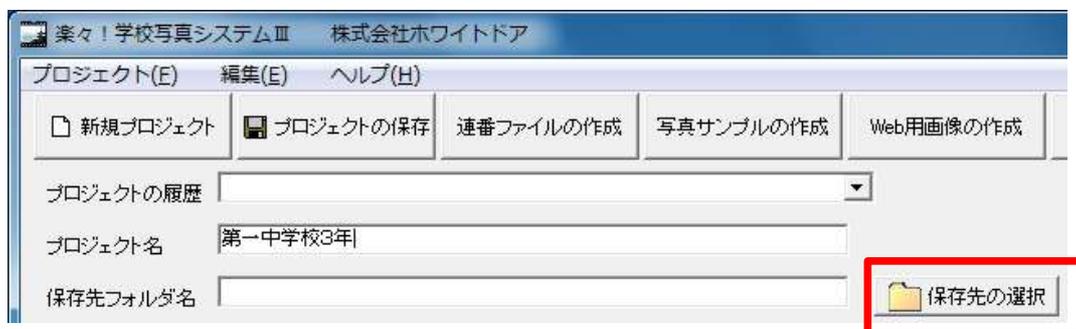


## ② プロジェクトの作成

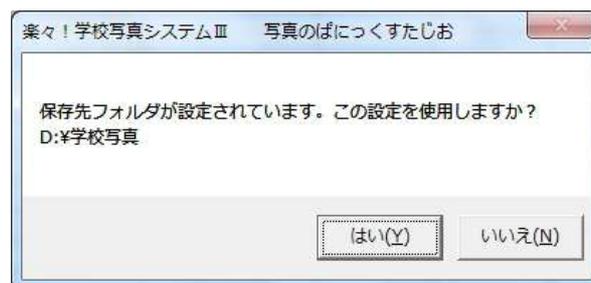
(1) プロジェクト名の欄に名前をつけます。



(2) 保存先フォルダ名を [保存先の選択] ボタンをクリックして保存先を決定します。  
★データの量が大きくなる可能性があるので **Windows の起動ドライブ以外** に設定してください。

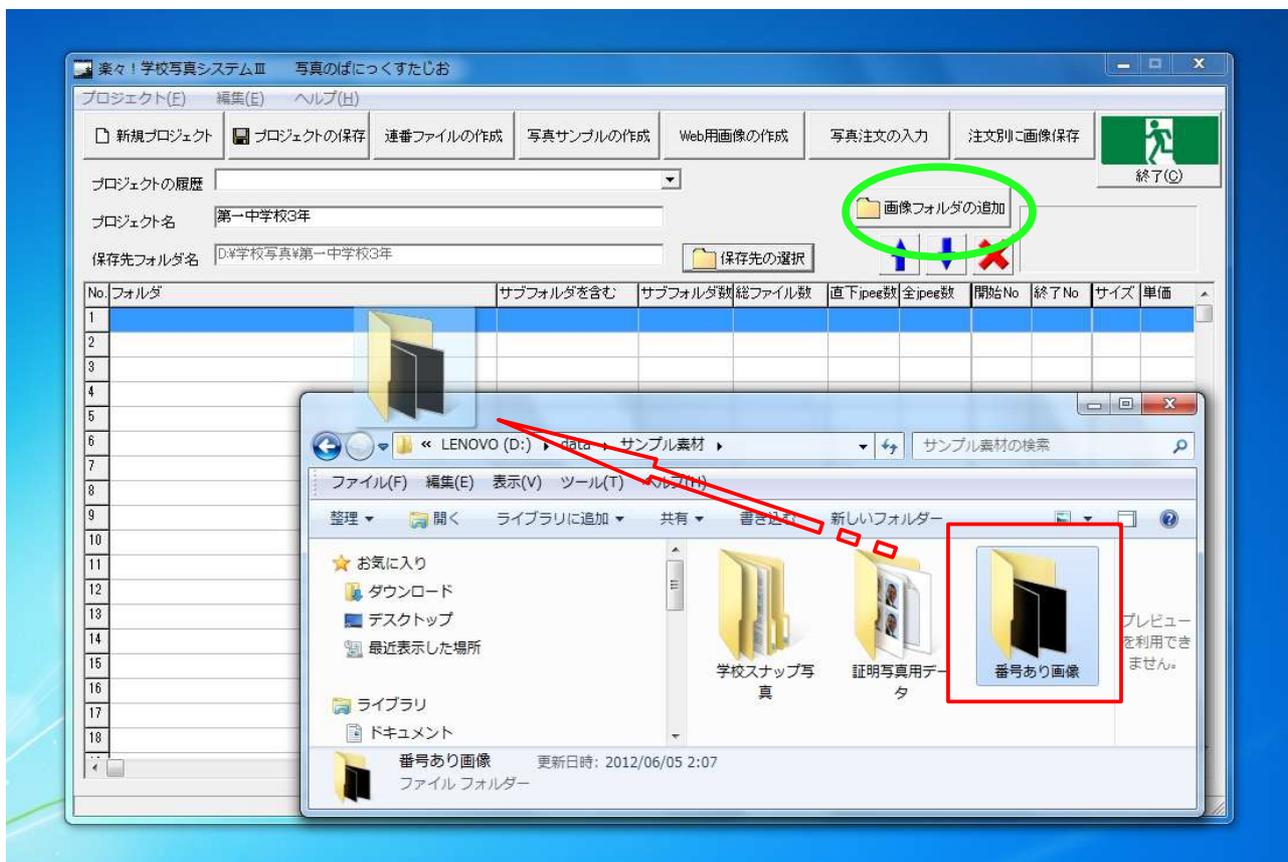


保存先を一度指定すると次回から同じフォルダを簡単に指定可能です。



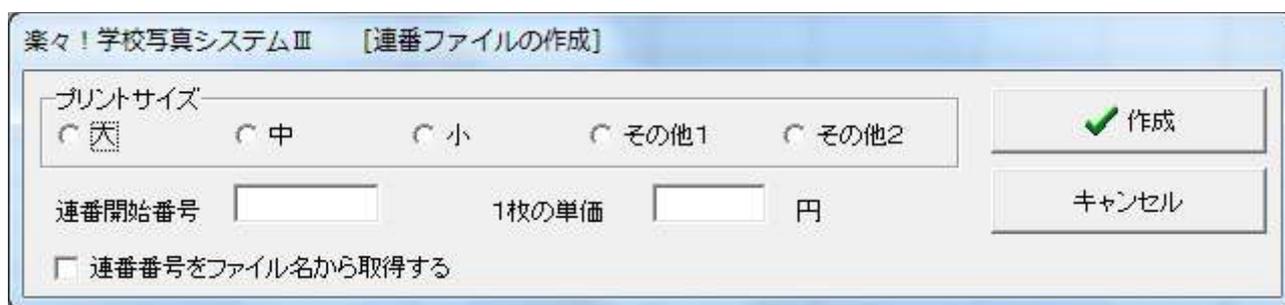
- (3) 保存先が決定したら次に写真データのあるファイルを開きファイルごと[Super 数ぐるめⅢ]のメインウィンドウにドラッグ&ドロップします。

既に連番ファイルを作成後に、フォルダを追加する場合も同様にメインウィンドウにドラッグ&ドロップします。



もしくは [画像フォルダの追加] ボタンをクリックして写真データのあるファイルを選択してOKをクリックします。

- (4) メインウィンドウの [連番ファイルの作成] ボタンをクリックします。



最初にラジオボタンでプリントサイズを指定します。  
(シングルサイズ版では ○小のみ です。)

次に連番の開始番号を指定します。既存の連番ファイルと重複しない番号で、1～4998までの値が入力可能です。(初期値は最終番号の次の値です。)新規作成の場合は1から指定します。

既に連番にリネーム済のフォルダを追加したい場合には  連番番号をファイル名から取得するにチェックを入れます。

ファイル名の数字は下4桁が有効になります。

例 1) DCIM12345.jpg → 2345.jpg

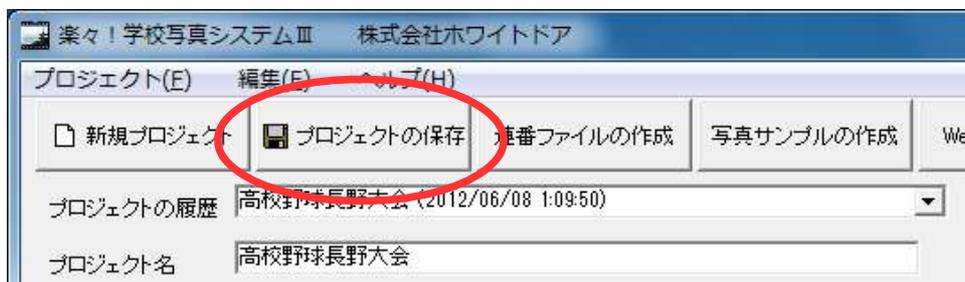
例 2) 00234.jpg → 0234.jpg

既に連番ファイルが作成されているプロジェクトに追加する場合はダイアログが表示されます。

既存の連番ファイルに追加するか新規に作り直すか選んでください。  
ただし既に注文が入力されている場合は連番ファイルは追加しか出来ません。

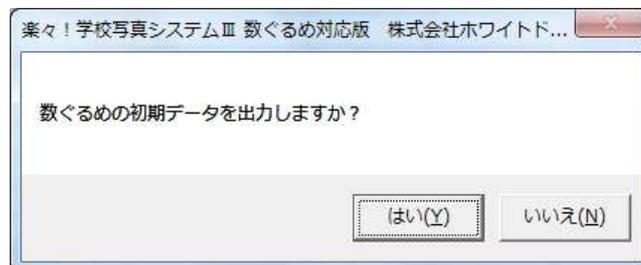
(5) プロジェクトを保存します。

[プロジェクトの保存] ボタンをクリックします。

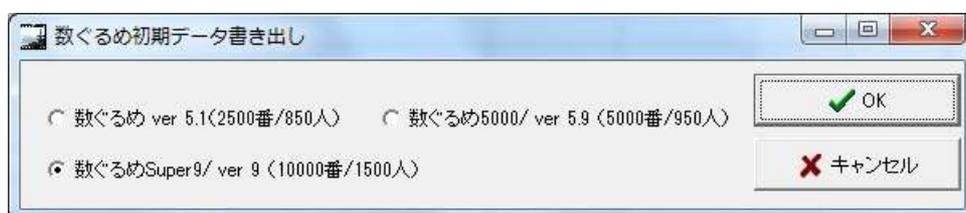


確認ダイアログが表示されるので内容を確認して [はい] ボタンをクリックして保存します。

次に数ぐるめの初期データを出力するかどうかダイアログが表示されます。



お使いの数ぐるめのバージョンを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



使用可能な連番番号は以下の通りです。

- |                 |         |          |
|-----------------|---------|----------|
| (1) 数ぐるめ        | ver 5.1 | 1～2499 番 |
| (2) 数ぐるめ 5000   | ver 5.9 | 1～4999 番 |
| (3) 数ぐるめ Super9 | ver 9   | 1～9999 番 |

(6) 既存のプロジェクトの開き方

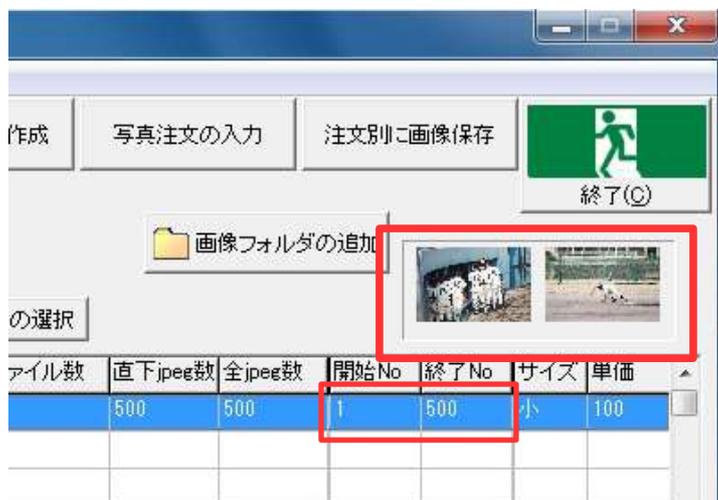
[プロジェクトの履歴] 選択ボックスの右端の[▼]ボタンをクリックして、表示される一覧から既存のプロジェクトを選択します。



(7) 連番ファイルの確認

連番ファイルを作成すると以下のように画面左側に作成された連番ファイルの開始番号と終了番号が表示されます。

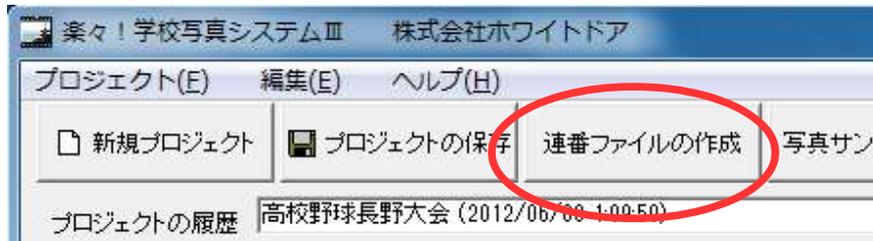
また**開始番号**か**終了番号**をクリックすると、画面左上方に開始番号と終了番号の画像が小さく表示されます。



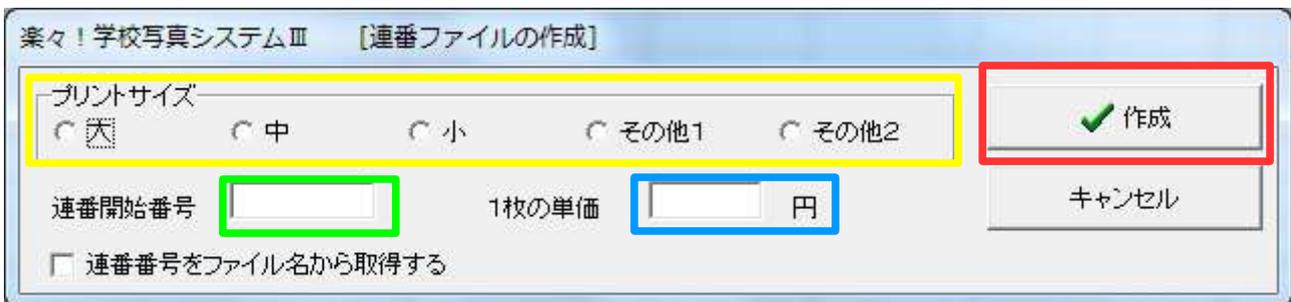
### ③ 連番ファイルの作成

指定したフォルダのリストからフォルダの並び順に連番画像を作成する機能です。フォルダ内の画像のコピーされる順番は通常ファイル名の番号の若い順番です。これは OS のフォルダの設定などにより異なる場合もあります。詳しくはお使いの Windows の説明書をお読みください。

- (1) メインウインドウの **[連番ファイルの作成]** ボタンをクリックします。



- (2) 以下のようなダイアログが開きます。



- 1) プリントサイズを選択します。

サイズは大中小とその他2サイズの5種類から選びます。通常だとスナップ写真は小、集合写真を大で指定します。

プリントサイズの指定を変更すると連番開始番号は同サイズの最後の番号に、1枚の単価は既に登録された値段が自動的に変更されます。

指定したプリントサイズが初めての登録の場合には、連番開始番号と1枚の単価がクリアされます。

- 2) 連番開始番号を指定します。注文入力に数ぐるめを併用する場合は、数ぐるめで設定した範囲内で指定します。既存の連番ファイルと重複する番号は指定出来ません。
- 3) 1枚の単価を指定します。注文入力に数ぐるめを併用する場合は、数ぐるめで設定した単価を指定します。
- 4) 最後に **[作成]** ボタンをクリックします。

先程指定した保存先フォルダの中に連番フォルダが作成されます。作成が完了すると作成された連番フォルダが新しいウインドウで開くので必ず内容を確認してください。

### (3) 連番ファイル作成時のファイルの順番について

プリンタについているスキャナで読み込む場合はフィルムの後からスキャンしてください。

Windows2000 や XP/Vista/7 の NTFS ファイルシステム上にスキャン画像がある場合は名前順に番号が振られます。

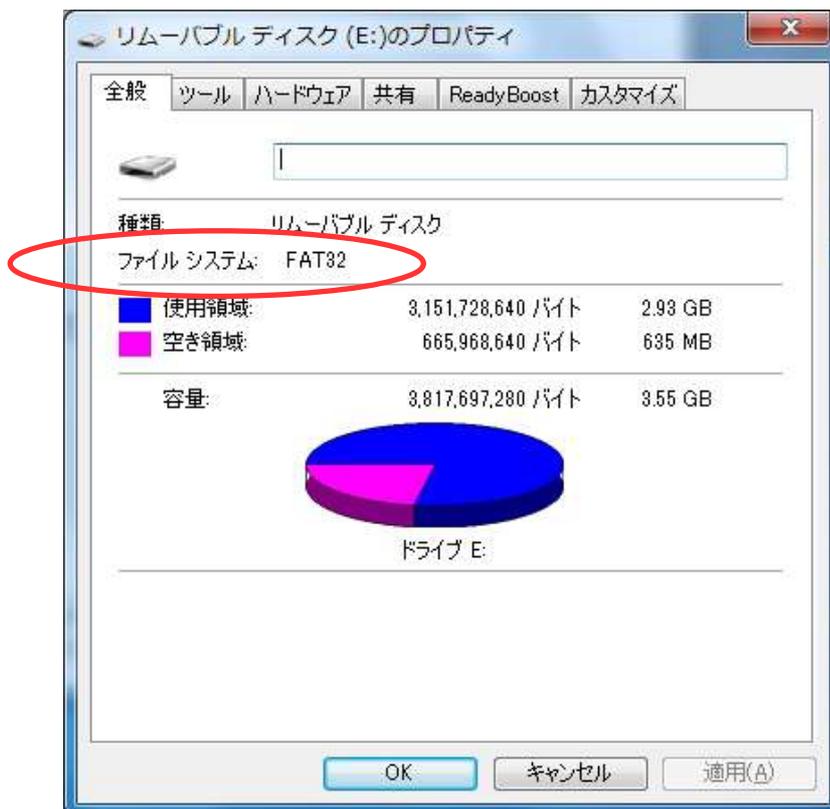
Windows98 などやメモリースティックや USB 2 接続の HDD などの外付けストレージデバイスでは FAT/FAT32 ファイルシステムが使われていますが、ドライブに最初に書き込まれた順に番号が振られます。

**SD カードや CF などのメディアや、USB メモリ、外付け HDD から連番を作成すると順番が入れ替わる事があります。**

以下の場合には順番が変わります。

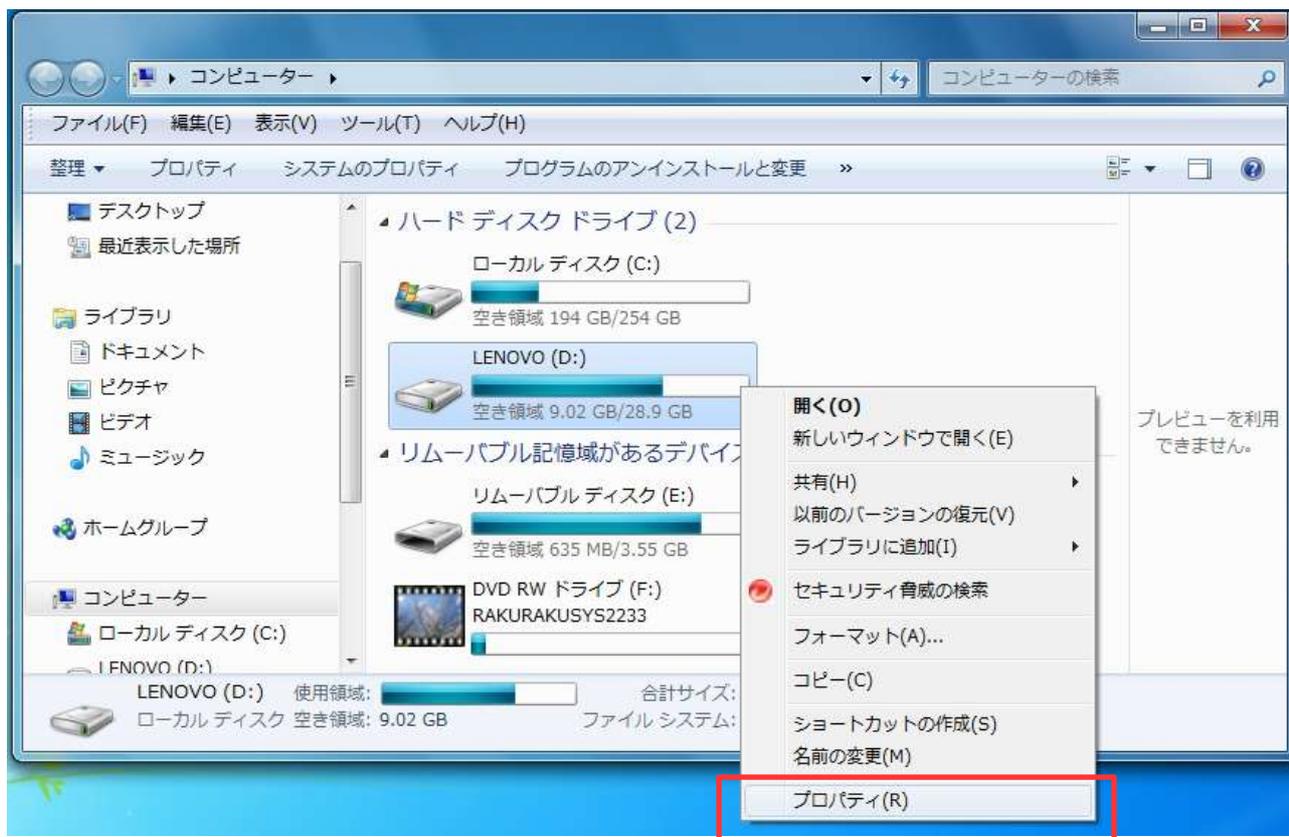
- SD カードや CF や USB メモリの中のファイルをフォトショップなど画像処理ソフトで編集更新した場合
- 1つの行事を複数台のカメラで撮影して1つのフォルダに纏めた場合
- 撮影後にファイル名を変更して順番を入れ替えた場合

このような場合には、パソコンの内蔵 HDD (NTFS フォーマット) へメディア内の画像ファイルをコピーしてから連番画像を作成してください。



外付け HDD のフォーマット形式を確認するには以下のようにします。

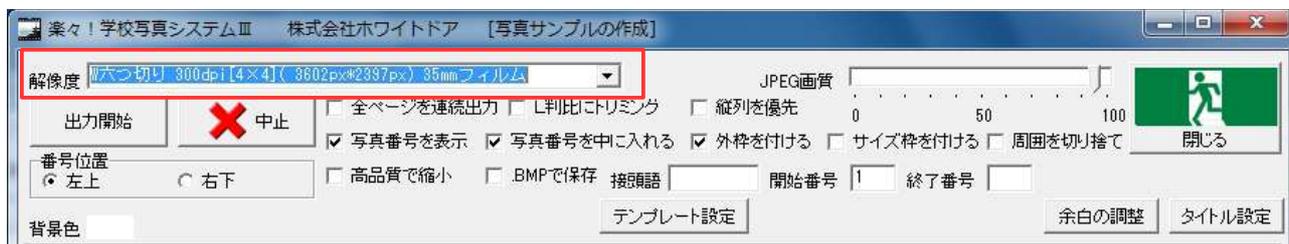
ドライブのファイルシステムを参照するには、コンピューターからドライブの一覧を開き、ドライブのアイコン上で右クリックして出るポップアップメニューからプロパティを開きます。



#### ④ インデックス写真の作成

連番フォルダに作成された連番画像ファイルから写真のインデックスを作成する機能です。

(1) メインウインドウの [写真サンプルの作成] ボタンをクリックします。



(2) 解像度を選択します。[解像度] 選択ボックスから用紙サイズと縦横枚数などで目的の項目を選びます。

例えば A3 ノビサイズでインデックスを作成する場合は  
解像度から[A3 400dpi[5x5]( 6614px\*4677px) 35mm フィルム]を選択します。

カスタムサイズで作成したい場合は用紙サイズと解像度が近い項目を選択してから[余白の調整]ボタンをクリックします。

サイズの編集はピクセル単位です。mmでの寸法がその右又は下に括弧内に表示されます。

[解像度] 72~400dpi

[用紙サイズ]

[写真一枚あたりのサイズ]

[フォントの高さ]

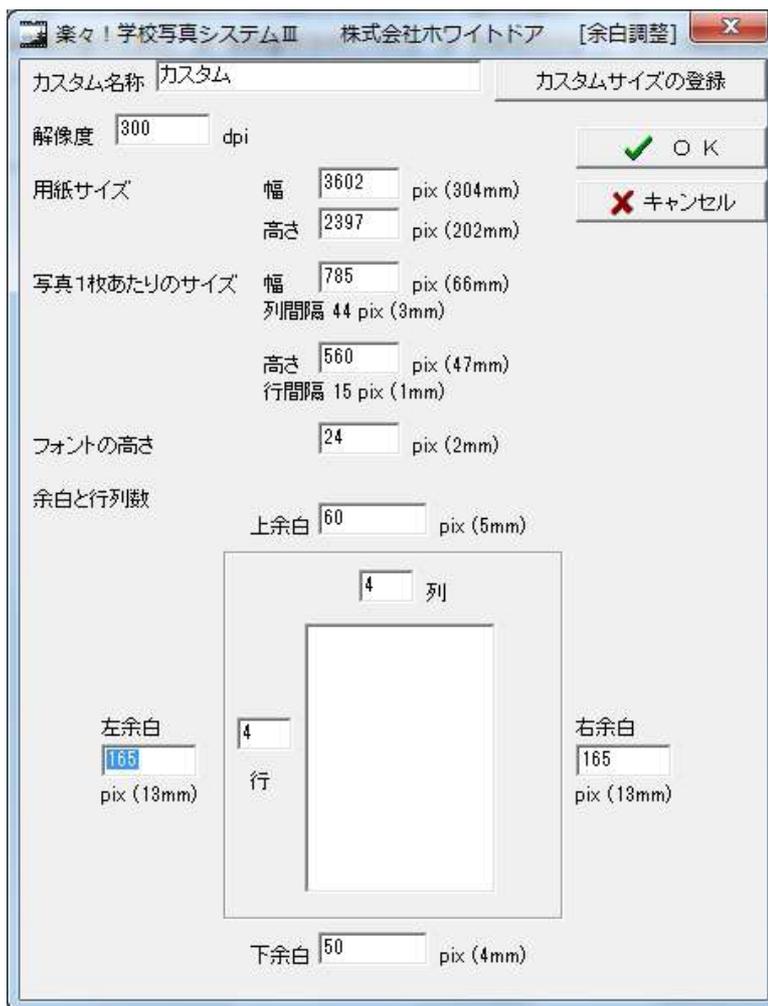
[余白と行数]

写真の配置行列数  
上下左右の余白

用紙サイズの目安 (mm)

用紙	幅	高さ
A3	297	420
A4	210	297
W 六つ切り	203	305
六つ切り	203	254

★ ここで設定した内容を登録して保存する事ができます。  
[カスタム名称] 欄に名称を入力して [カスタムサイズの登録] ボタンをクリックします。



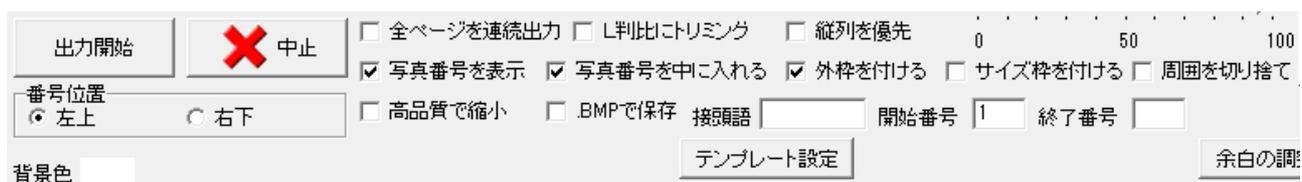
(3) Jpeg 画質を選択します。0 で最低画質で 100 で最高画質です。

初期設定では 95 になっています。

解像度が低い場合やページあたりの写真の枚数が多い場合は画質を高めにご設定してください。



(4) その他のオプション設定



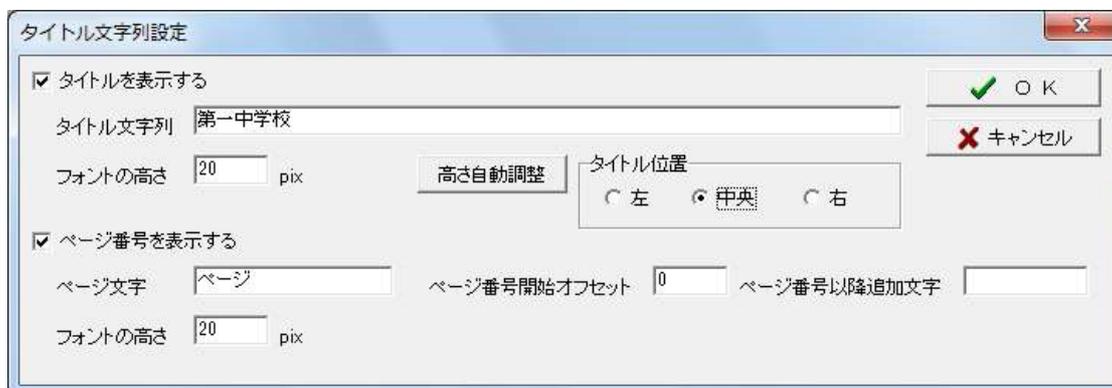
[番号位置]	写真番号欄を左上と右下から選択します。
[全ページを連続で出力]	最初のページを出力してみて確認してからチェックしてください。
[L判比にトリミング]	L判の比率になるように上下左右をトリミングします。 見本では写っていたのにL判プリントで顔が切れているなどのクレームを防ぎます。
[縦列を優先]	A0判などを横に並べて展示する場合に縦方向優先で写真を並べます。
[写真番号を表示]	写真の左上隅に写真の番号を表示します。
[写真番号を中に入れる]	写真番号欄を数ミリ写真の中に移動します。 写真が欠けて見えるのを防ぎます。
[外枠を付ける]	写真に外枠を 1pix 幅で付けます。
[サイズ枠を付ける]	外枠と写真の縦横比が違う場合に画像のフチに枠を表示します。
[周囲を切り捨て]	画像の周辺部を1ミリ切り捨てます。ミニラボ機のペーパー送りの揺れで写真の端にある顔が切れるのを防ぎます。
[高品質で縮小]	時間がかかりますが標準よりきれいに縮小する設定です。 髪の毛などにざらつき感やモアレが発生する場合に有効です。
[BMP で保存]	劣化無しで保存したい場合にチェックします。 ファイルサイズに注意してください。
[背景色]	右の四角をクリックしてカラーピッカーよりページの背景色を選択出来ます。
[接頭語]	写真番号を表示する場合に番号の前に文字を入れられます。
[開始番号]	連番ファイルの途中からインデックスを作成する場合に指定してください。
[終了番号]	連番ファイルの途中でインデックス作成を終了する場合に指定してください。

## (5) タイトル文字列設定

各ページの上余白に表示する文字列を設定出来ます。



[タイトル設定] ボタンをクリックして、設定ダイアログを開きます。



□ タイトルを表示する にチェックを入れ、タイトル文字列欄へ文字を入れます。

フォントのサイズは初期値が 20pix ですが、[高さ自動調整] ボタンをクリックすると上余白に収まるサイズに調整出来ます。

タイトルの位置は左・中央・右より選択できます。

□ ページ番号を表示するにチェックを入れると、各ページに番号を入れる事ができます。

## (6) テンプレート設定

インデックスの最初のページに説明ページを挿入できます。

文字列を最大5つ、画像を4つまでレイアウト可能です。

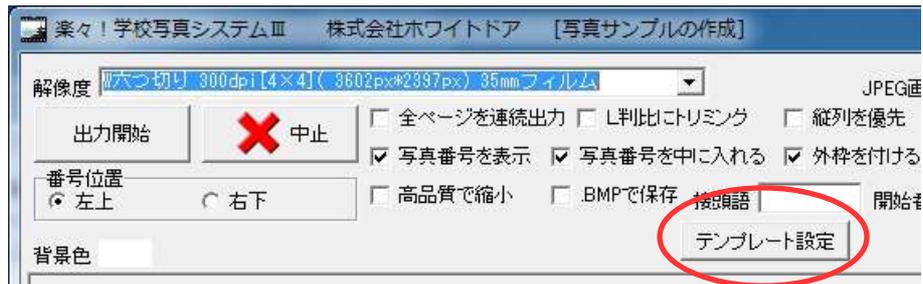
例)



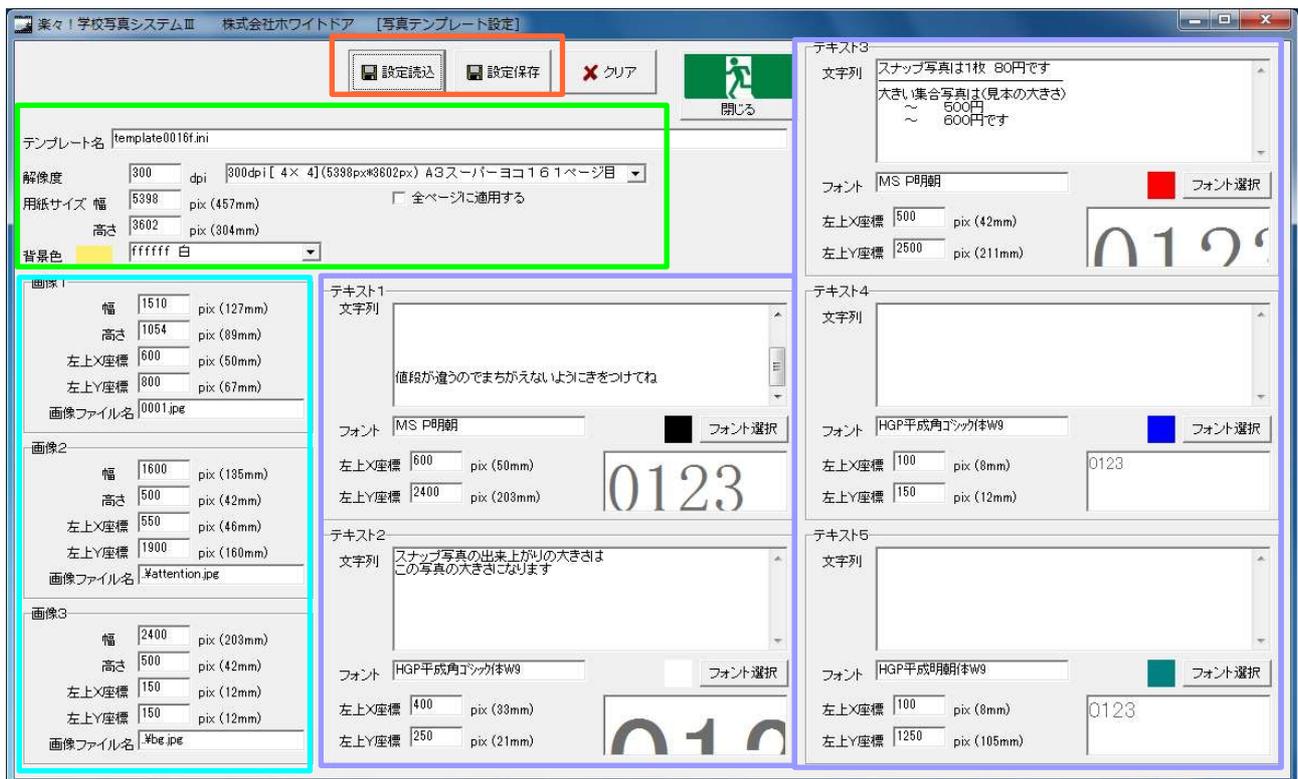
上の例では1ページ目の左余白をページ幅の半分に設定して左半分に説明を表示しています。

※ あらかじめページの左半分が空白になるように、解像度の設定を作成しておく必要があります。

[テンプレート設定] ボタンをクリックします。



設定画面が開きます。



1) 用紙サイズなどの設定   

解像度の dpi 値を入力し、使用するテンプレートを選択ボックスから選択します。  
次に用紙サイズの幅高さを入力します。  
背景色を変更する場合には選択ボックスから選択するか四角い色表示をクリックしてカラーピッカーから色を選択します。

2) 画像ファイルの設定   

画像 (jpg) はプロジェクトの保存先フォルダ以下の連番フォルダが基準になります。

使う画像ファイルは連番フォルダかその上のプロジェクトの保存先フォルダに用意しておきます。  
画像のファイル名欄へファイル名を入力し、サイズと表示位置の左上座標をピクセル単位で入力します。  
数値を入力するとおおよその値がミリ単位で表示されますので参考にしてください。

ファイルをプロジェクトの保存先フォルダ直下に置いた場合には、ファイル名の先頭に相対的フォルダ指定の ..¥ を付けてください。(半角文字)

### 3) テキストの設定



文字列は最大5つまで設定できます。

それぞれ複数行の入力が可能です。フォントは[フォント選択] ボタンを押して変更可能です。  
(フォント名、サイズ、色など)

表示位置の左上座標をピクセル単位で入力します。

### 4) 設定の保存



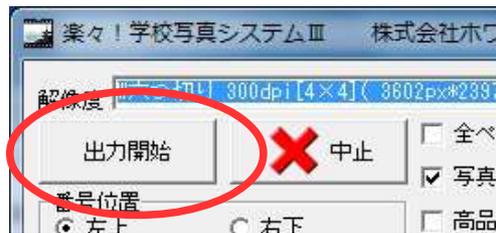
作成した設定は[設定保存]ボタンをクリックして名前を付けて保存することができます。  
通常はインストールフォルダ以下の **projects** フォルダに保存してください。

ファイル名は **template\*.ini** のように名前を付けてください。(\* の部分を任意の文字にします)

ここで保存した設定は[設定読込]ボタンより呼び出す事が可能です。

## (7) 出力

[出力開始] ボタンをクリックするとインデックス画像の作成を開始します。

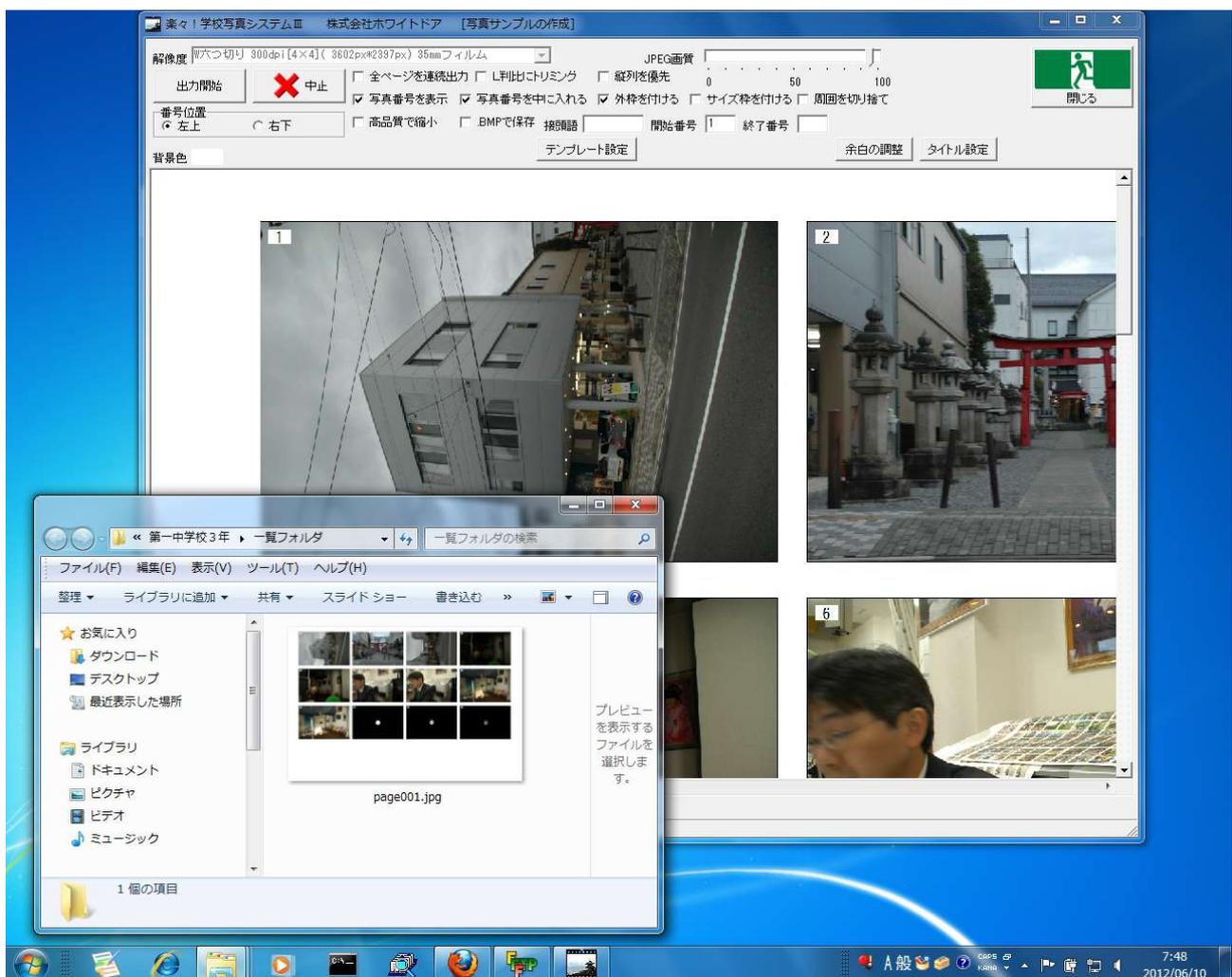


処理中はマウスポインターが矢印から砂時計に変わります。

[全ページを連続で出力] にチェックが入っていない場合は1ページ分を出力すると一旦停止します。出力内容を確認してよければまた [出力開始] ボタンをクリックすると次のページが出力されます。

作成中に中断する場合は [中止] ボタンを2回クリックします。

終了すると一覧のフォルダが新しいウインドウで開きます。

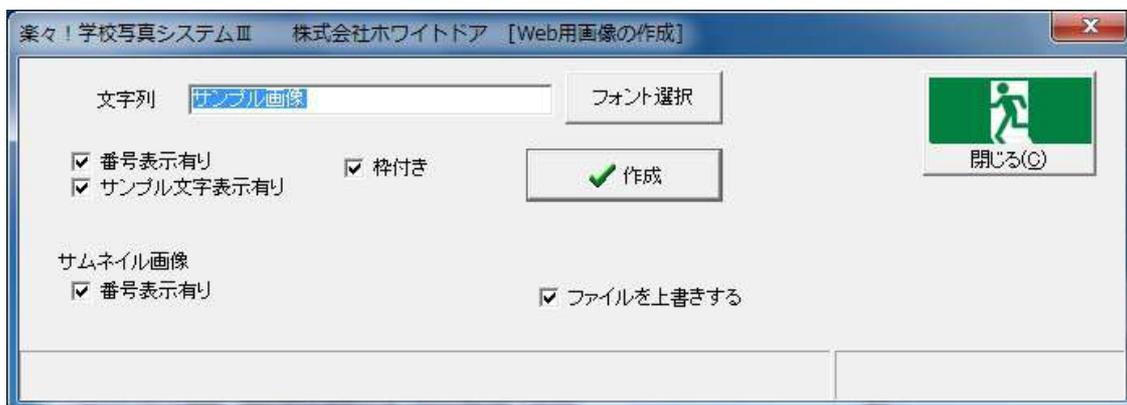


## ⑤ Web 用画像の作成

Web 閲覧用のサンプル画像とサムネイル画像を作成する機能です。

- (注意1) ホームページ用のレンタルサーバーを別途契約する必要があります。  
(必要要件: PHP5 以降が動作する事。Basic 認証が設定可能な事。HDD 容量 10GB 以上。)
- (注意2) 添付の閲覧用ファイルには注文機能はありません。またコピーガードは掛かっていません。
- (注意3) サーバーへのアップロードはフリーウェア(FFFTP や WinSCP など)で行ってください。

- (1) メインウインドウの **[Web 用画像の作成]** ボタンをクリックします。



- (2) 画面中央に表示する文字列を設定します。(初期値は「サンプル画像」です)  
フォントを変更したい場合には**[フォント選択]** ボタンをクリックしてください。

- (3) オプションを設定します。

### サンプル画像

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 番号表示有り     | 画像の左上隅に番号を表示します。    |
| <input type="checkbox"/> サンプル文字表示有り | 画面中央に文字列を半透明で表示します。 |
| <input type="checkbox"/> 枠付き        | 番号の後ろに白い枠を表示します。    |

### サムネイル画像

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 番号表示有り | 画像の左上隅に番号を表示します。 |
|---------------------------------|------------------|

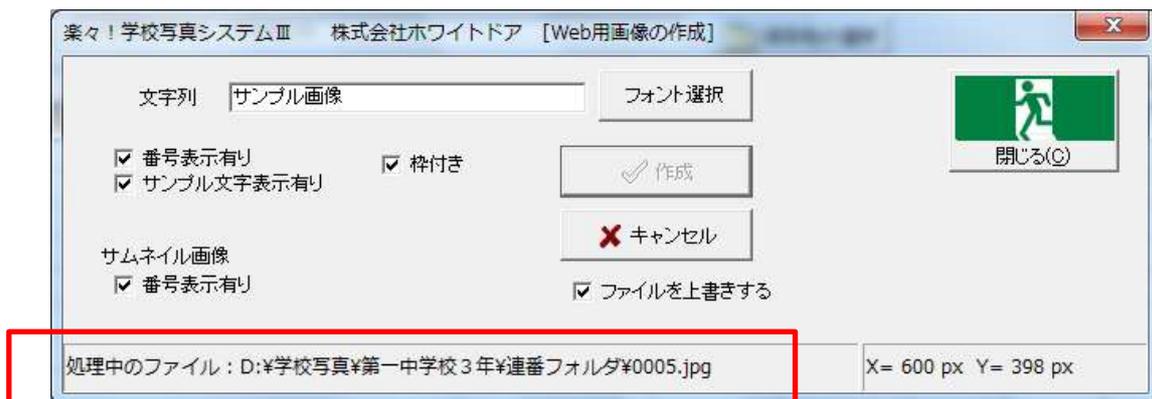
### その他

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> ファイルを上書きする | チェックされている場合には全ファイルを作成し直します。<br>チェックを外した場合には無い連番番号ファイルのみ作成します。 |
|-------------------------------------|---|

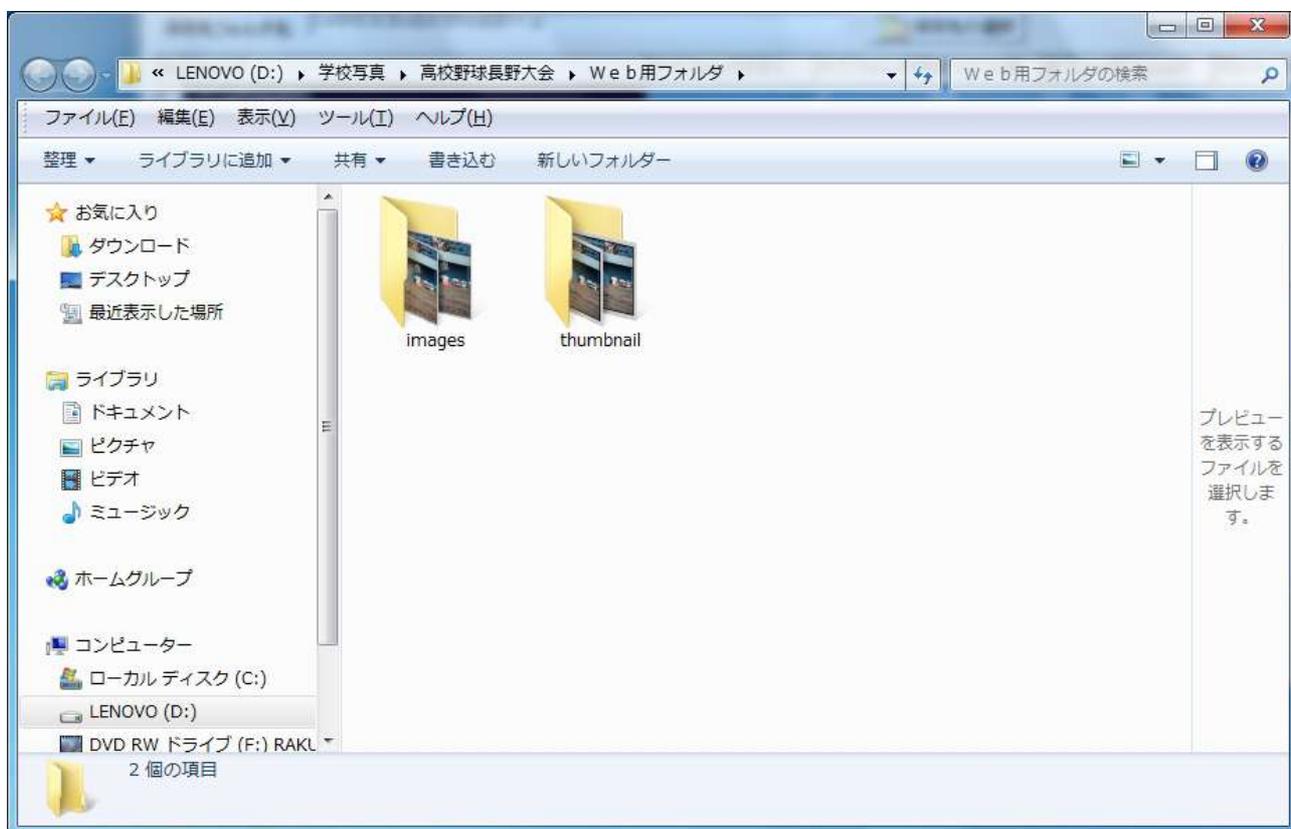
※ 画像サイズなどは固定ですが、設定ファイルを編集すると変更が可能です。  
サンプル画像 600pix、サムネイル画像 100pix

(参照) P. 42 5. フォルダ構成や設定ファイル⇒④ 設定ファイル内容⇒<2> Web 閲覧用の設定ファイル

- (4) 作成ボタンをクリックすると作成が開始されます。  
 中断する場合には [キャンセル] ボタンをクリックします。  
 進行状況はステータスバーに表示されます。



作成が完了するとWeb用画像フォルダが別ウィンドウで開きます。



images フォルダ                      サンプル画像が入ります。  
 thumbnail フォルダ                サムネイル画像が入ります。

- (5) レンタルサーバーに任意のフォルダを作成して、フォルダへ BASIC 認証を掛けます。

作成した images と thumbnail の2つのフォルダをFTPツールで転送します。  
 学校写真システムのインストールフォルダ以下の webdata フォルダ以下のファイルも転送します。

## ⑥ 写真注文の入力

写真の注文を入力します。画面は写真注文袋と同じようなレイアウトになっています。

(1) メインウインドウの [写真注文の入力] ボタンをクリックします。

(2) 注文の入力

画面左上の部分(下拡大図)で行います。

[注文者 No.] 1～4999 までの半角数字で入力します。

[番号] 写真の番号を左上から半角数字で入力します。

1人分の入力が終わったら合計枚数欄と合計金額欄の表示を注文袋と比較して確認し、**[入力]**ボタンをクリックします。  
 入力が終わったものは下の一覧表に表示されます。

No.	注文者	大	中	小	①	②	合計枚数	合計金額		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1	0	0	22	0	0	22	2200		15	16	29	59	59	77	79	82	86	87
2	2	0	0	12	0	0	12	1200		5	6	12	14	15	16	18	22	35	36
3	3	0	0	8	0	0	8	800		233	235	314	316	324	355	368	370		

1人の注文者が同じ番号の写真を複数枚注文していた場合は枚数分同じ番号を入力します。  
 最初の欄で数字を入力した直後にテンキーより + を入力すると次の欄に自動的に移動して直前の数値が入力されます。  
 (2番の写真を3枚なら[2][+][+]のように入力します。)



■ 効率的な入力を行うには

テンキーを使うと片手で効率的に入力が行えます。

注文者 No.を入力したら **[Enter]** キーを押すと、写真番号の入力枠にカーソルが移動します。

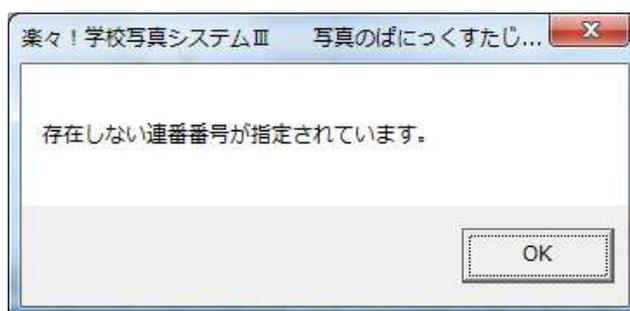
写真番号入力枠では、次の枠に**[Tab]**か**[Enter]**キーで移動できます。  
**[Alt]+[Tab]**又は**[Alt]+[Enter]**で逆順に移動できます。

枠の移動はその他にもカーソルキーやマウスのクリックでも可能です。

写真番号の入力枠の空欄で**[Enter]** キーを押すと(もしくは数字を入力後に**[Enter]** キーを2回押します)、**[入力]** 又は **[更新]** ボタンにフォーカスが移動します。  
 そのまま**[Enter]** キーを押すと、データが下の一欄表に追加されフォーカスが注文者 No.入力枠に移動します。

以上の操作を繰り返してください。

入力ミスがあると警告音が鳴り、ダイアログが表示されますので修正してください。



※入力画面は 100 枚までしか入力できませんので 100 枚以上の時には再度同じ注文者 No. で更に入力してください。

既に入力済の注文者の注文を修正するには下の一覧表でその注文者の行をクリックします。

No.	注文者	大	中	小	①	②	合計枚数	合計金額	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	1	0	0	22	0	0	22	2200	15	16	29	59	59	77	79	82	86	87	112	113	115	116	117	118	231	240	241
2	2	0	0	12	0	0	12	1200	5	6	12	14	15	16	18	22	35	36	88	89							
3	3	0	0	8	0	0	8	800	233	235	314	316	324	355	368	370											
4	4	0	0	21	0	0	21	2100	115	116	118	119	135	136	147	179	233	248	249	315	316	334	350	361	362	378	455
5	5	0	0	13	0	0	13	1300	130	67	46	409	235	305	319	339	384	413	475	442	409						

変更が終わったら [更新] ボタンをクリックして変更内容を確認します。変更作業を中止する場合は [中止] ボタンをクリックします。



既に入力した行を削除するには、一覧表上で行を選択して削除ボタンをクリックします。

またその左の上下矢印ボタンで行の上下移動が行えます。



### (3) 注文データの保存

入力が終了したら [保存] ボタンをクリックします。



メニューに登録されている[注文入力]ソフトを使って入力のみを行う事もできます。

注文入力ソフトで作成したデータを読み込む場合はプロジェクト名と同じ名前で、拡張子を.csvとして [Super 数ぐるめⅢ] の projects フォルダ以下にコピーしてください。

#### (4) 注文データファイルの読み込み

通常は既存のプロジェクトをメインウィンドウの [プロジェクトの履歴] から選択するとプロジェクト名と同じ名前 ([プロジェクト名].csv) のファイルを自動的に読み込まれます。

エクセルなどで別途作成した注文データを読み込むには [ .csv から読み込み ] ボタンをクリックしてファイルを選択します。



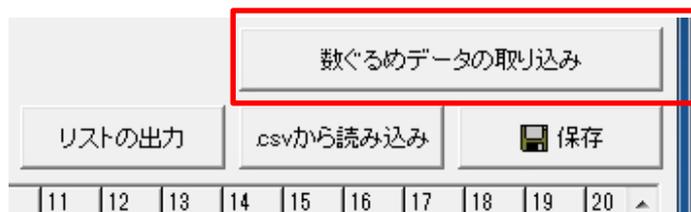
(注文別画像フォルダ以下の既存のデータは消去されます。)

取り込み中に連番ファイルの作成時の設定と値段などが違う場合は警告ダイアログが表示されます。通常は [はい] をクリックして中止してください。

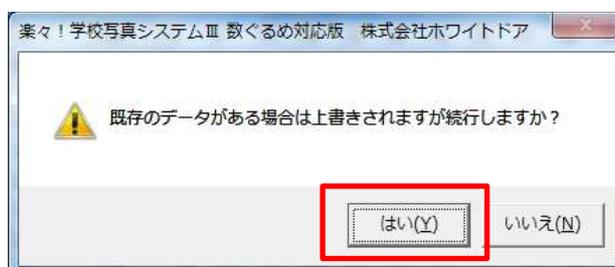
連番ファイルに無い写真があったり、1枚あたりの単価が違った場合は警告ダイアログが表示されます。通常は [はい] をクリックして中止してください。

#### (5) 数ぐるめデータの取り込み

ウイスタから発売されている数ぐるめで作成した注文データを読み込むには [数ぐるめデータの取り込み] ボタンをクリックします。



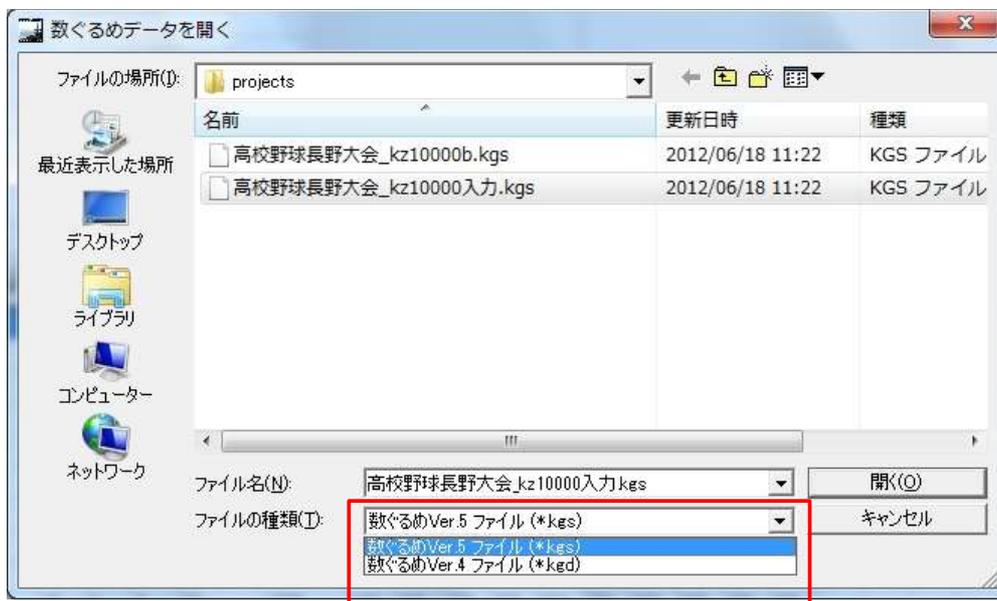
既に入力されたデータがあった場合は消去されます。確認ダイアログが出ますのでよければ [はい] ボタンをクリックして続行します。



数ぐるめデータのファイル選択ダイアログが開きます。

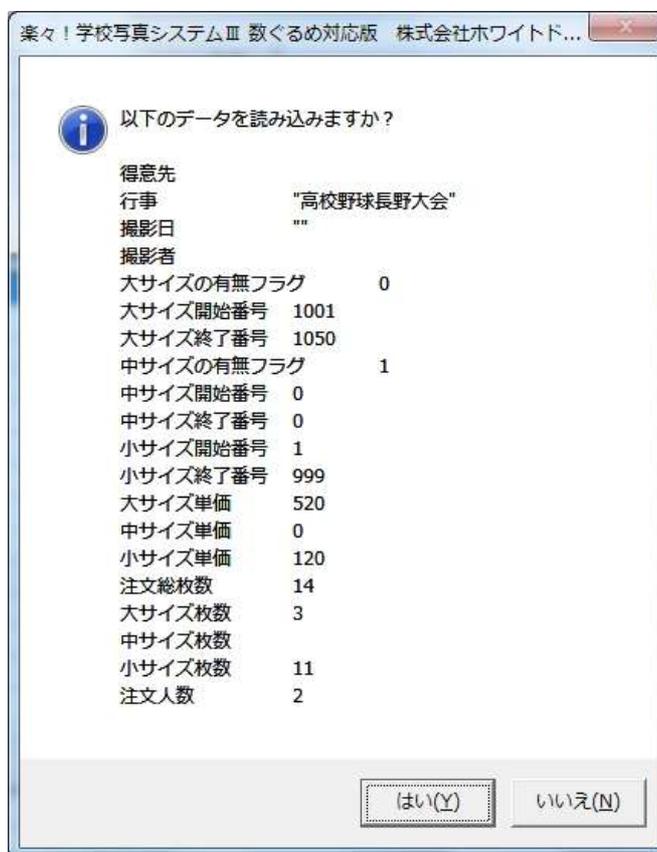
数ぐるめデータは **Ver.4** と **Ver.5** で作成されたものに対応しています。

ファイル一覧表示を切り替えるには、[ファイルの種類]コンボボックスから **Ver.5** と **Ver.4** のどちらかを選択します。

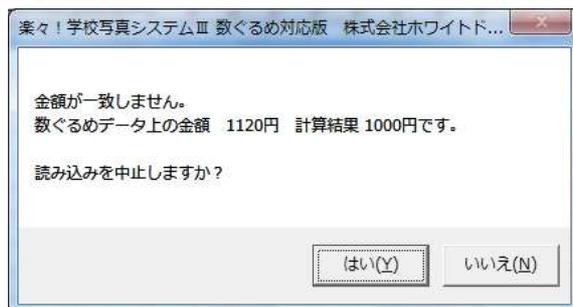


取り込みたいファイルを選択して **[開く]** ボタンをクリックします。

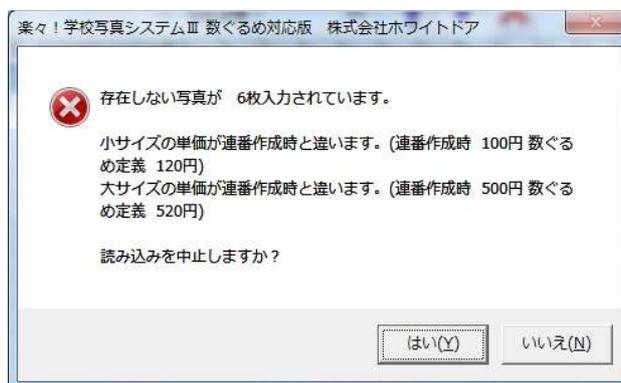
数ぐるめデータのファイル情報が表示されるので確認して正しければ **[はい]** をクリックします。再度選択し直す場合は **[いいえ]** をクリックします。



取り込み中に連番ファイルの作成時の設定と値段などが違う場合は警告ダイアログが表示されます。通常は **[はい]** をクリックして中止してください。



連番ファイルに無い写真があったり、1枚あたりの単価が違った場合は警告ダイアログが表示されます。通常は **[はい]** をクリックして中止してください。



## (6) リストの出力

**[リストの出力]** ボタンをクリックすると作成したリストをテキストファイルに出力します。出力先はプログラムのインストール先フォルダです。

C:\¥Photoorder3¥projects

ファイル名は、プロジェクト名+'\_注文リスト.txt' になります。

例) '第一中学校3年\_個人別注文リスト.txt'

D:\¥data¥PhotoOrder3テスト用フォルダ¥projects¥高校野球長野大会\_個人別注文リスト.txt - TepadEditor

ファイル(F) 編集(E) 整形(O) 検索(S) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

プロジェクト名 高校野球長野大会  
出力年月日 2012/06/08 2:07:29

小サイズ単価 100 円

【個人別】

注文者	注文枚数	大	中	小	合計	値段
1	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
2	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
3	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
4	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
5	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
6	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
7	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
8	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
9	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
10	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
11	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
12	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
13	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
14	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
15	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
16	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
17	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
18	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
19	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
20	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円
21	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	0円

## ⑦ 注文別の画像(写真)の保存

注文の入力が完了したら、注文者毎に写真画像をフォルダ分けしてコピーを行います。

メインウインドウの[注文別に画像保存] ボタンをクリックします。

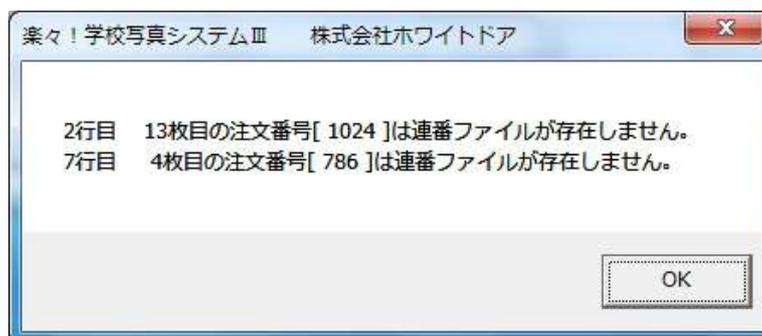
- (1) **【入力チェック】** ボタンをクリックして最終チェックを行います。

読み込んだ注文データに入力ミスが無いかチェックを行う機能です。

チェックするのは、数字以外の文字・5000番以上の無効な注文者番号 10000番以上の無効な写真番号・連番フォルダに存在しない写真番号の有無です。

No.	注文者	大	中	小	①	②	合計枚数	合計金額	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	1	0	0	22	0	0	22	2200	15	16	29	59	59	77	79	82	86	87	112	113	115	116	117	118	231	240	241
2	2	0	0	12	0	0	12	1200	5	6	12	14	15	16	18	22	35	36	88	89							
3	3	0	0	8	0	0	8	800	233	235	314	316	324	355	368	370											
4	4	0	0	21	0	0	21	2100	115	116	118	119	135	136	147	179	233	248	249	315	316	334	350	361	362	378	455
5	5	0	0	13	0	0	13	1300	130	67	46	409	235	305	319	339	384	413	475	442	409						
6	6	0	0	10	0	0	10	1000	119	313	308	301	413	447	482	326	212	207									
7	7	0	0	3	0	0	3	300	455	468	478																
8	8	0	0	15	0	0	15	1500	316	12	244	248	316	123	370	379	445	446	451	452	455	470	471				
9	9	0	0	14	0	0	14	1400	304	308	18	69	198	202	204	386	418	450	448	442	56	88					
10	10	0	0	10	0	0	10	1000	266	268	143	270	272	256	340	345	355	366									
11	11	0	0	14	0	0	14	1400	421	423	12	14	15	16	131	133	135	137	220	228	228	299					
12	12	0	0	12	0	0	12	1200	222	223	225	226	228	31	255	258	280	281	339	392							
13	13	0	0	12	0	0	12	1200	111	113	152	174	164	22	136	228	294	295	338	361							
14	14	0	0	13	0	0	13	1300	411	413	420	423	425	436	437	444	445	446	470	471	472						

チェックして入力ミスが存在した場合は、以下のようなダイアログが表示されます。



入力ミスが40件を超えた場合はチェック作業が中断されます。報告された40件を修正後再度チェックを行ってください。

(2) オプションの設定 画面には以下のオプション設定があります。

サンプル写真各1枚分引いて保存する    サンプル指定テキストの横列数

・ サンプル写真各1枚分引いて保存する

学校に全写真を1枚ずつサンプルとして出していた場合に、戻ってきた写真を注文写真として再利用する場合チェックをします。初期設定ではチェックが入っています。インデックスのみでサンプル写真を印刷していない場合もしくはサンプル写真を再利用しない場合は、このチェックを外してください。

・ サンプル指定テキストの横列数

ウインドウの**サンプル指定テキストの横列数**には初期値として 4 となっており横4列で出力されます。指定可能な数値は1～4になります。例えば写真番号と注文者番号を縦1列で出力するには 1 を指定します。

開始注文者No.  ~ 終了注文者No.

- ・ **開始注文者 No.** 全注文ではなく一部の注文のみをコピーする場合に指定します。初期値は最初の注文者番号です。
- ・ **終了注文者 No.** 全注文ではなく一部の注文のみをコピーする場合に指定します。初期値は最大の注文者番号です。

保存対象サイズ  大  中  小  ①  ②

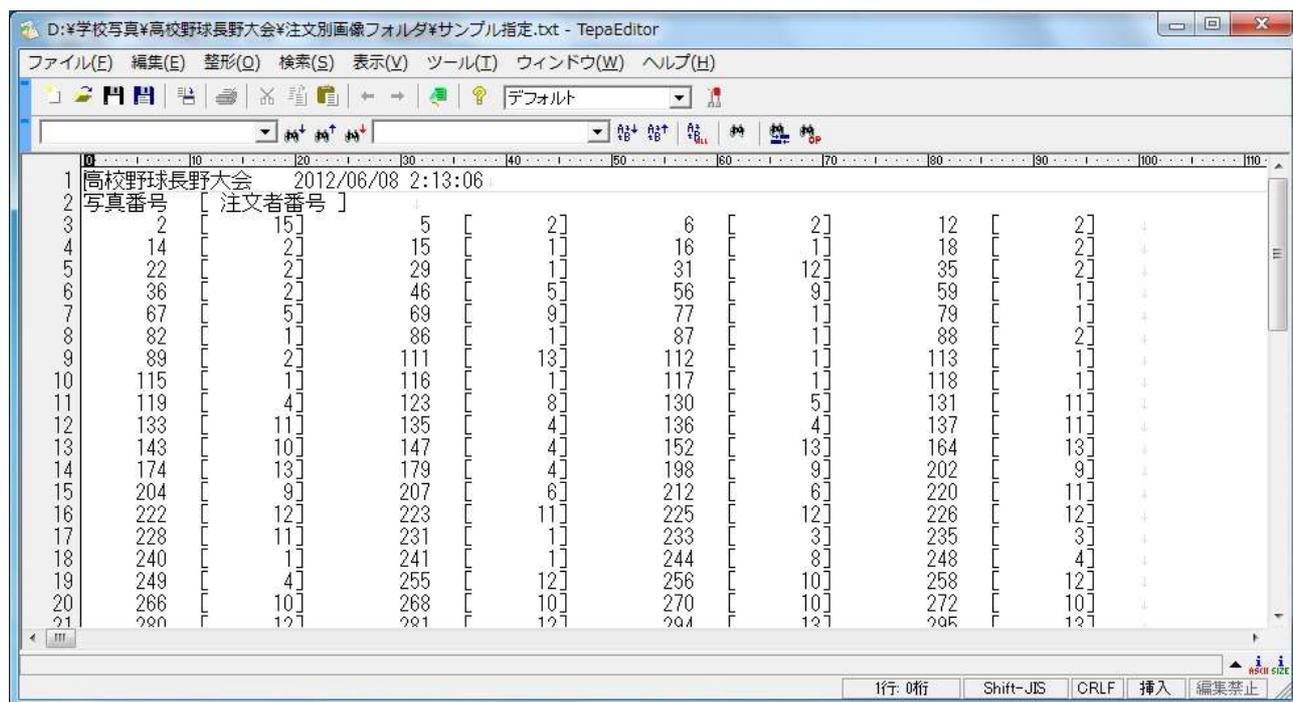
- ・ **保存対象サイズ** 保存したいサイズにチェックを入れます。初期状態では小のみです。

注文者毎にフォルダ作成 

- ・ **注文者毎にフォルダ作成**  
フジのフロンティアシリーズを使っている場合はこのチェックを外します。  
ノーリツ鋼機の QSS シリーズではチェックを入れた状態でお使いください。(初期値)



チェックボックスにチェックを入れていた場合はサンプル写真の振り分けを指示するテキストファイルが出力されます。

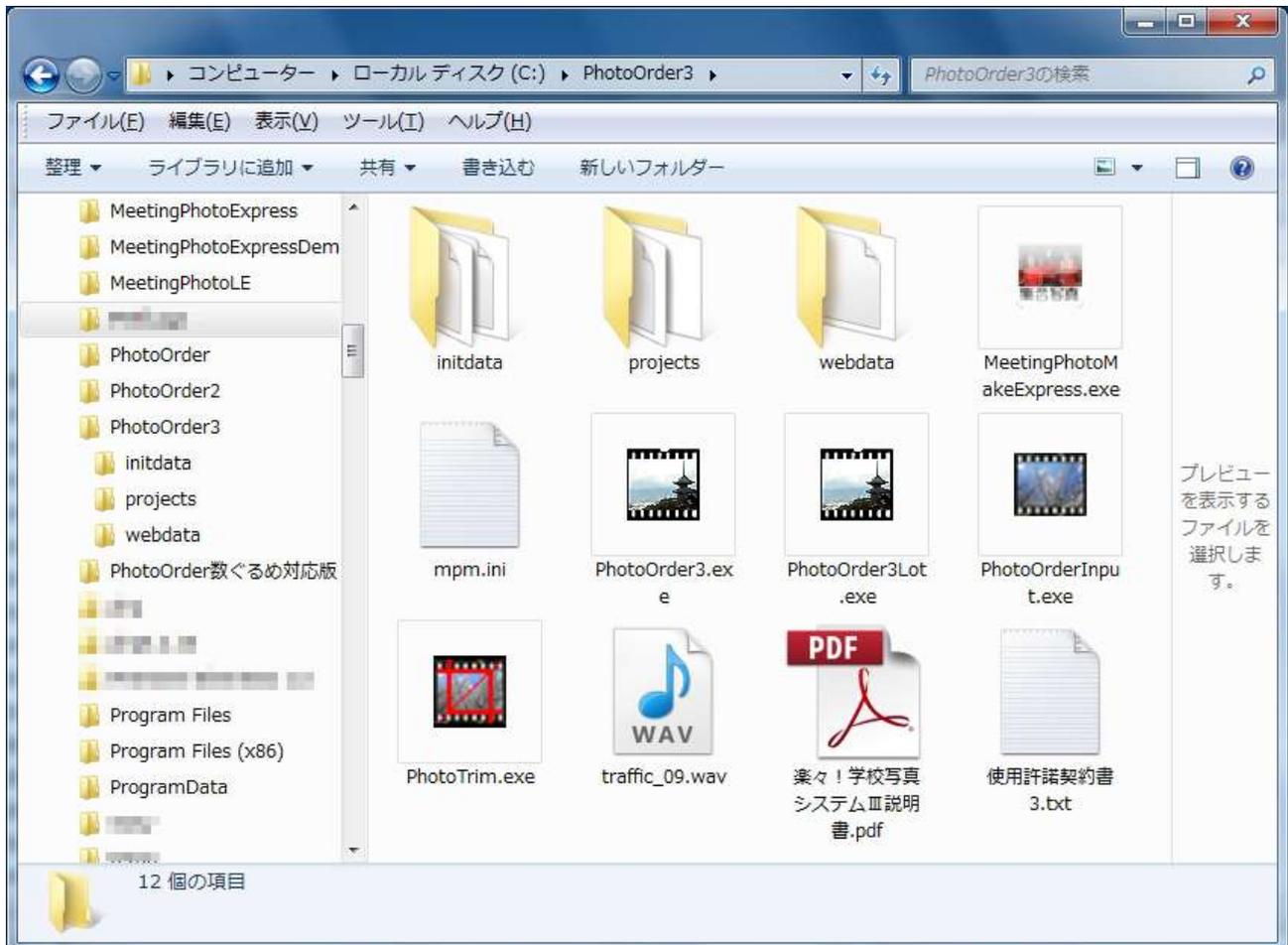


このテキストファイルを印刷して、これに従ってサンプル写真を振り分けてください。  
( サンプル指定.txt )

## 5. フォルダ構成や設定ファイル

### ① プログラムのインストール先フォルダ

標準でのインストール直後は以下のような構成になっています。



[PhotoOrder3]	実行ファイル、音声ファイル、マニュアルなど
[initdata]	設定ファイル
[projects]	プロジェクト関連ファイル ※ このフォルダ内のファイルを消すと全プロジェクト情報がなくなります。
[webdata]	Webでの展示用のファイルなど

## ② メインメニューとの関連

[インストールフォルダを開く]

[C:\¥PhotoOrder3](#)

[Super 数ぐるめⅢ]

[C:\¥PhotoOrder3¥PhotoOrder3.exe](#)

[Super 数ぐるめⅢ説明書]

[C:\¥PhotoOrder3¥Super 数ぐるめⅢ説明書.pdf](#)

[楽々！集合写真 Express バンドル版]

[C:\¥PhotoOrder3¥MeetingPhotoMakeExpress.exe](#)

[写真トリミングツール]

[C:\¥PhotoOrder3¥PhotoTrim.exe](#)

## ③ 各種ファイルの説明

•initdata フォルダ

CustomSize.def 写真サンプルの用紙サイズなどの設定ファイル  
outputFmt.def 注文別保存時のファイル名の設定ファイル  
outputFmtLot.def 注文別保存時のファイル名の設定ファイル(Lot あり版用)  
web\_init.dat Web での展示用サンプル作成時の設定ファイル

•webdata フォルダ

index.php 閲覧用 PHP ファイル(サーバー要件:PHP5 以降対応)

•webdata¥icons フォルダ

.png .gif ファイル Web 閲覧の index.php で使用する画像ファイル

#### ④ 設定ファイル内容

プログラムファイルと同じフォルダにプロジェクトの設定ファイルが保存されています。全てテキストファイルですので修正も可能ですが**必ずバックアップ**を行ってから変更してください。

##### <1> プロジェクトの設定 ( projects フォルダ以下 )

work\_log.txt プロジェクトの履歴と各プロジェクトの設定ファイルです。

5行で1プロジェクトを構成します。

```
第一中学校3年
2005/05/03 18:54:54
C:¥ProgramFiles¥PhotoOrder¥project00000.txt
I:¥temp¥第一中学校3年
scode=
```

1行目 プロジェクト名  
2行目 プロジェクトの保存日付  
3行目 写真のコピー元フォルダ一覧データファイル名  
4行目 データ保存先フォルダ  
5行目 ロット No. (数ぐるめ対応版は scode= のみ)

★5行目の後には改行が必要です。

project?????.txt 各プロジェクトの写真のコピー元フォルダ一覧データです。

★必ず最終行の後に改行が必要です。

1列目 サブフォルダの数  
2列目 総ファイル数(jpeg ファイル以外も含む)  
3列目 直下の jpeg ファイル数  
4列目 全 jpeg ファイル数  
5列目 サブフォルダ内の画像も含む場合は1。通常は0。  
6列目 連番の開始番号。連番ファイル未作成なら0。  
7列目 連番の終了番号。連番ファイル未作成なら0。  
8列目 サイズ(数値 0=大 1=中 2=小 3=① 4=②)  
9列目 サイズ(日本語)  
10列目 サイズ単価  
11列目 コピー元のフォルダ名

```
0, 28, 28, 28, 0, 0, 0, 2, 小, 30, I:¥DigiCame¥7898
```

```
0, 28, 28, 28, 0, 101, 128, 2, 小, 30, I:¥DigiCame¥7898
```

連番ファイル作成後の場合は6列目と7列目に連番の開始番号と終了番号が入ります。

(プロジェクト名).csv 注文データです。カンマ区切りのテキストファイルです。エクセルなど表計算ソフトで読み書きが可能です。

## <2> Web 閲覧用の設定ファイル

**web\_init.dat** (テキストファイルです。メモ帳などで編集します。)

※ **projects** フォルダにもプロジェクト名+ **web\_init.dat** のファイル名で保存されます。

[Photo]	[Number]	[Sampletxt]	[CorpTxt]
<b>WebSize=600</b>	Charset=128	Charset=128	Charset=128
<b>ThumbSize=100</b>	Name=MS Pゴシック	Name=MS Pゴシック	Name=MS Pゴシック
<b>JpegQuality=80</b>	Size=36	Size=40	Size=24
DispNumber=1	Style=B	Style=B	Style=B
DispSmample=1	Color=0	Color=16777215	Color=0
DispCorpName=1	BgColor=16777215	<b>Text=サンプル画像</b>	<b>Text=Web 展示サンプル</b>
thumbDispNumber=1	DispWaku=1		
thumbDispSmample=0	ZeroNum=0		
thumbDispCorpName=0			

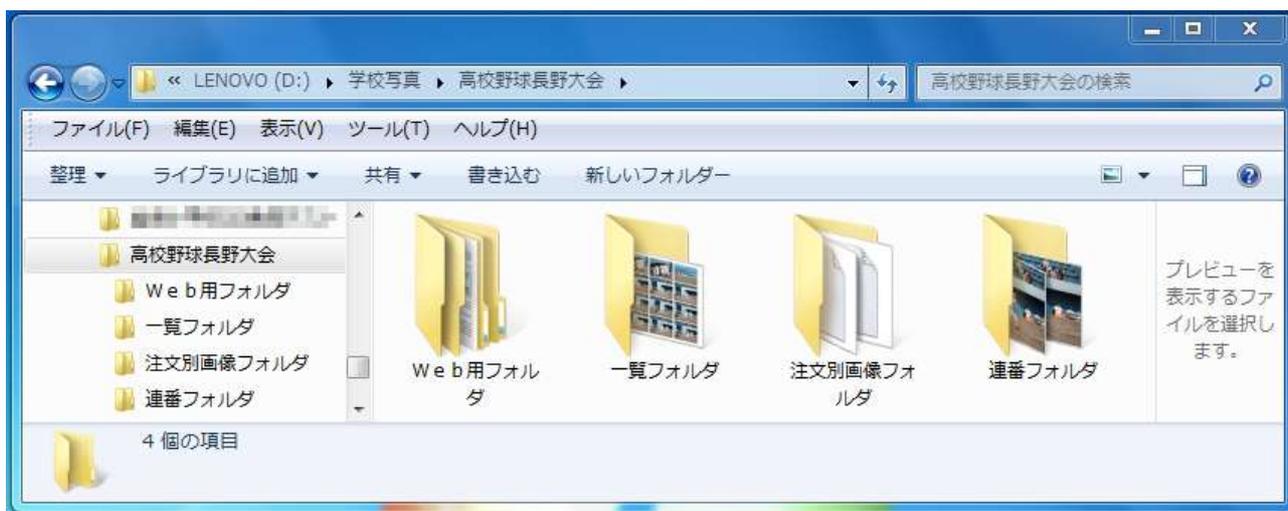
各項目の=の右側の値を書き換えると画像サイズなどを変更出来ます。

[photo] **WebSize** 画像の幅・高さの大きい辺のピクセル寸法 (初期値:600 最大:1000)  
[photo] **TumbSize** サムネイル画像の幅・高さの大きい辺のピクセル寸法(初期値:100)  
[photo] **jpgQuality** 保存する **jpeg** の画質です。

[Smampletxt] **Text** 画面真ん中に入る文字列です。  
[CorpTxt] **Text** 画面右下に入る文字列です。

## ⑤ 保存先フォルダの構成

保存先フォルダ内には最終的に以下の4つのフォルダが作成されます。



### 連番フォルダ

連番画像ファイルが入っています。  
連番ファイルの名前は通常4桁の数字. jpg です。  
例) 0001. jpg

連番ファイル変換ログ. txt に元ファイル名と連番ファイル名の対応リストが出力されます。

### 一覧フォルダ

作成されたインデックス画像ファイルが保存されています。

### 注文別画像フォルダ

サイズ毎のサブフォルダが作成され、さらにその下に注文者別にサブフォルダが作成され、おのおの注文された写真画像ファイルがコピーされて入っています。

### Web用フォルダ

Web 閲覧用の画像データが保存されています。  
imgaes と thumbnail フォルダの2つのサブフォルダがあります。

## ⑥ 保存先フォルダのネットワーク共有処理について

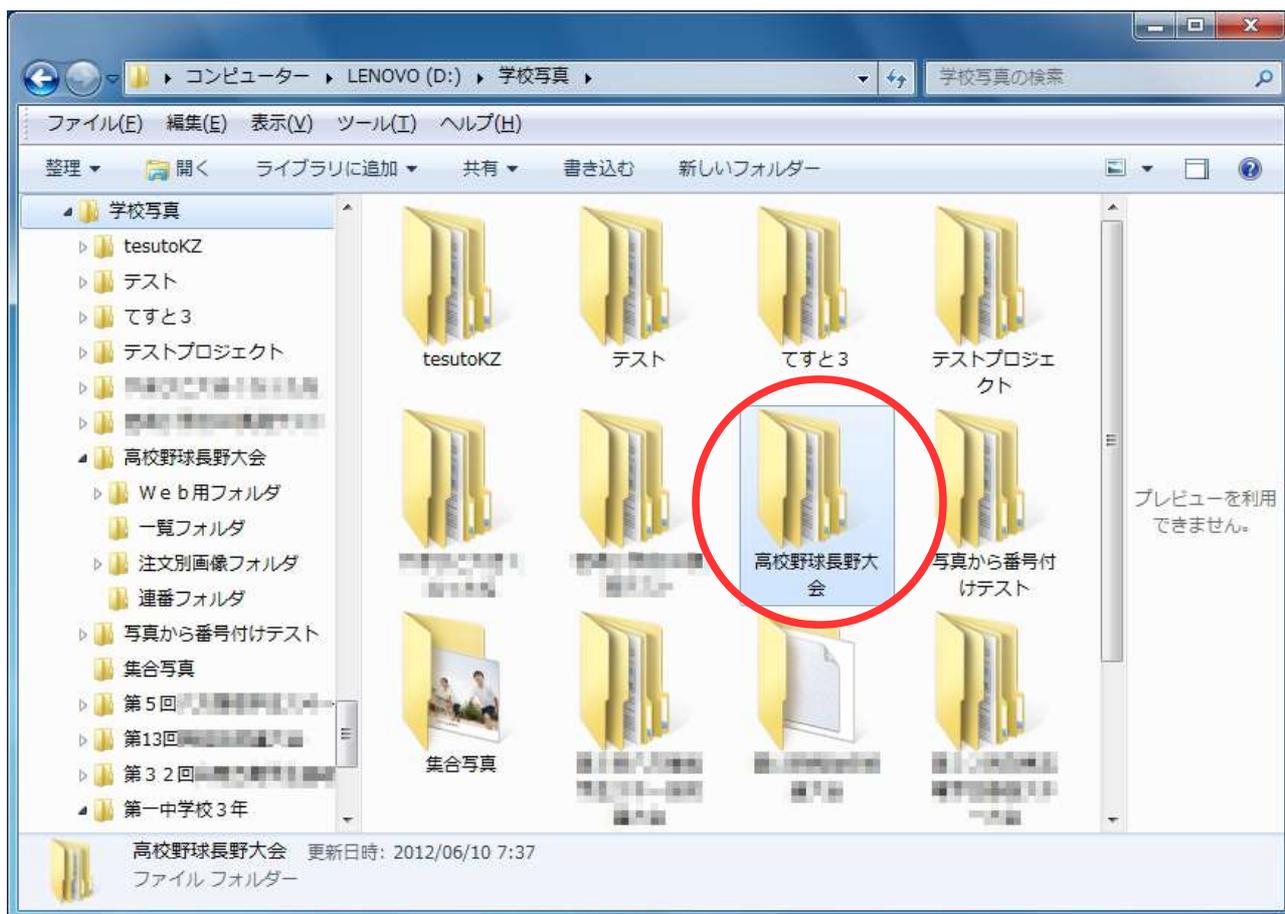
作成した保存先フォルダをミニラボ機からアクセス出来るように設定します。

保存先フォルダは、データの量が大きくなる可能性があるので **Windows** の起動ドライブ以外に設定しておきます。

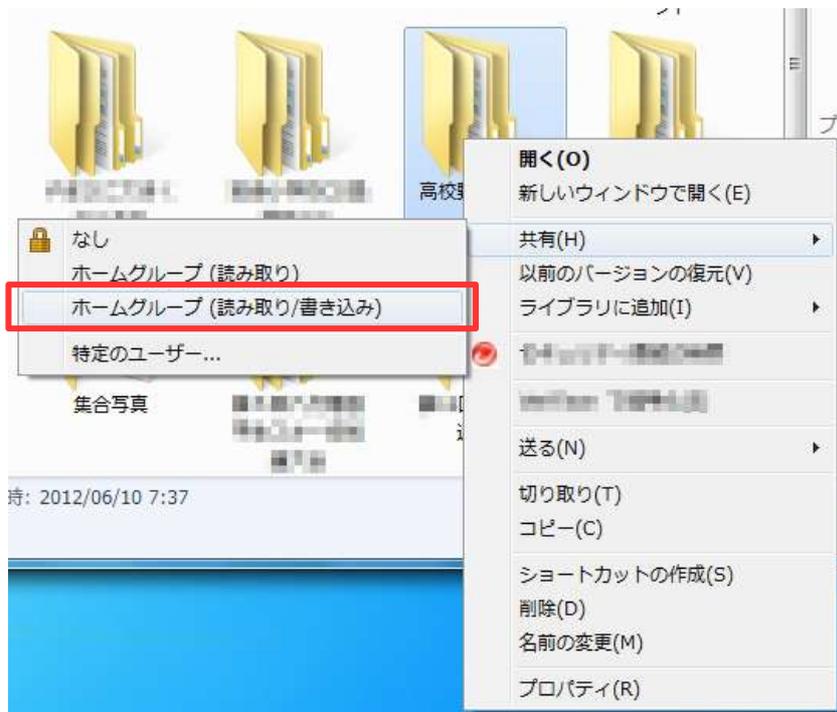
USB2接続の大容量ハードディスクなどを使用すると便利です。(フォーマット形式:NTFS)

プロジェクトの保存先フォルダをネットワーク上で共有するには以下のようにします。

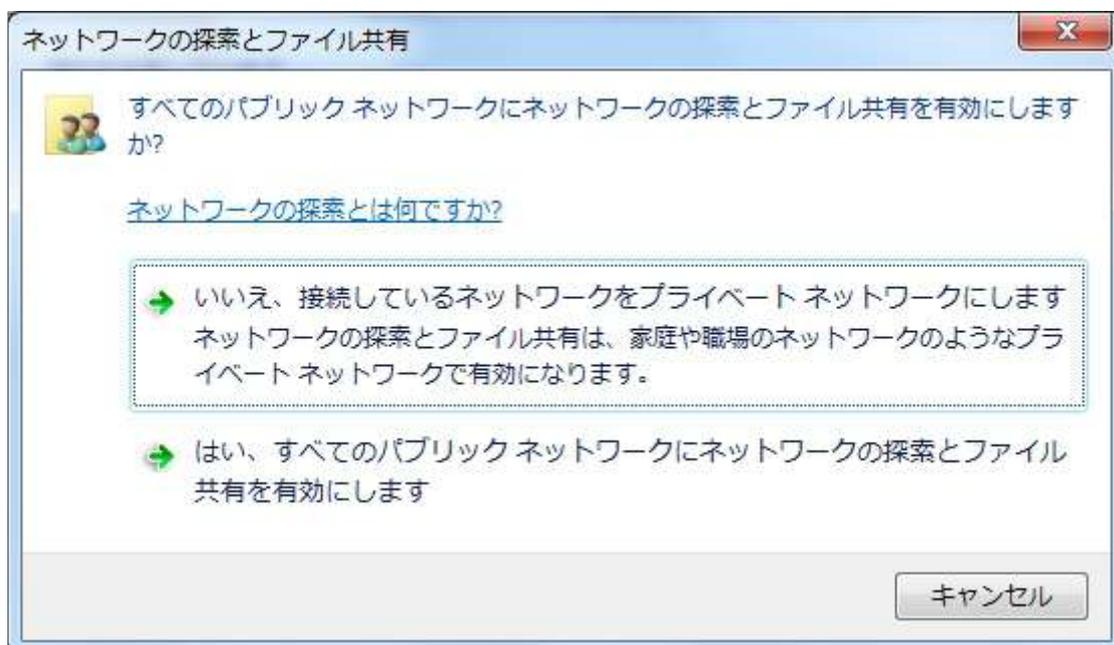
(1) プロジェクトの保存先フォルダを【 **コンピューター** 】から開きます。



- (2) フォルダアイコンの上で右クリックしてポップアップメニューを出します。【共有】メニュー ⇒ 【ホームグループ(読み取り/書き込み)】を選択します。

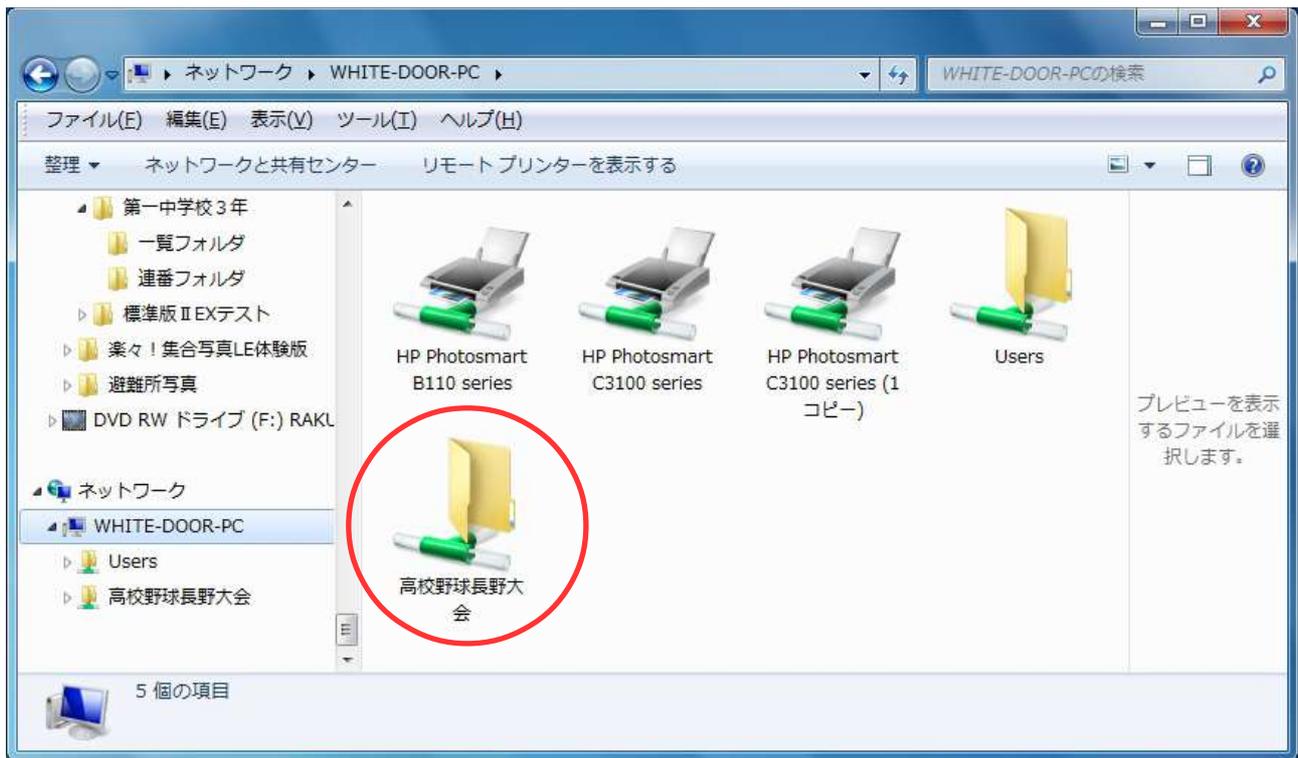


- (3) ネットワークの探索とファイル共有 のダイアログが開きます。

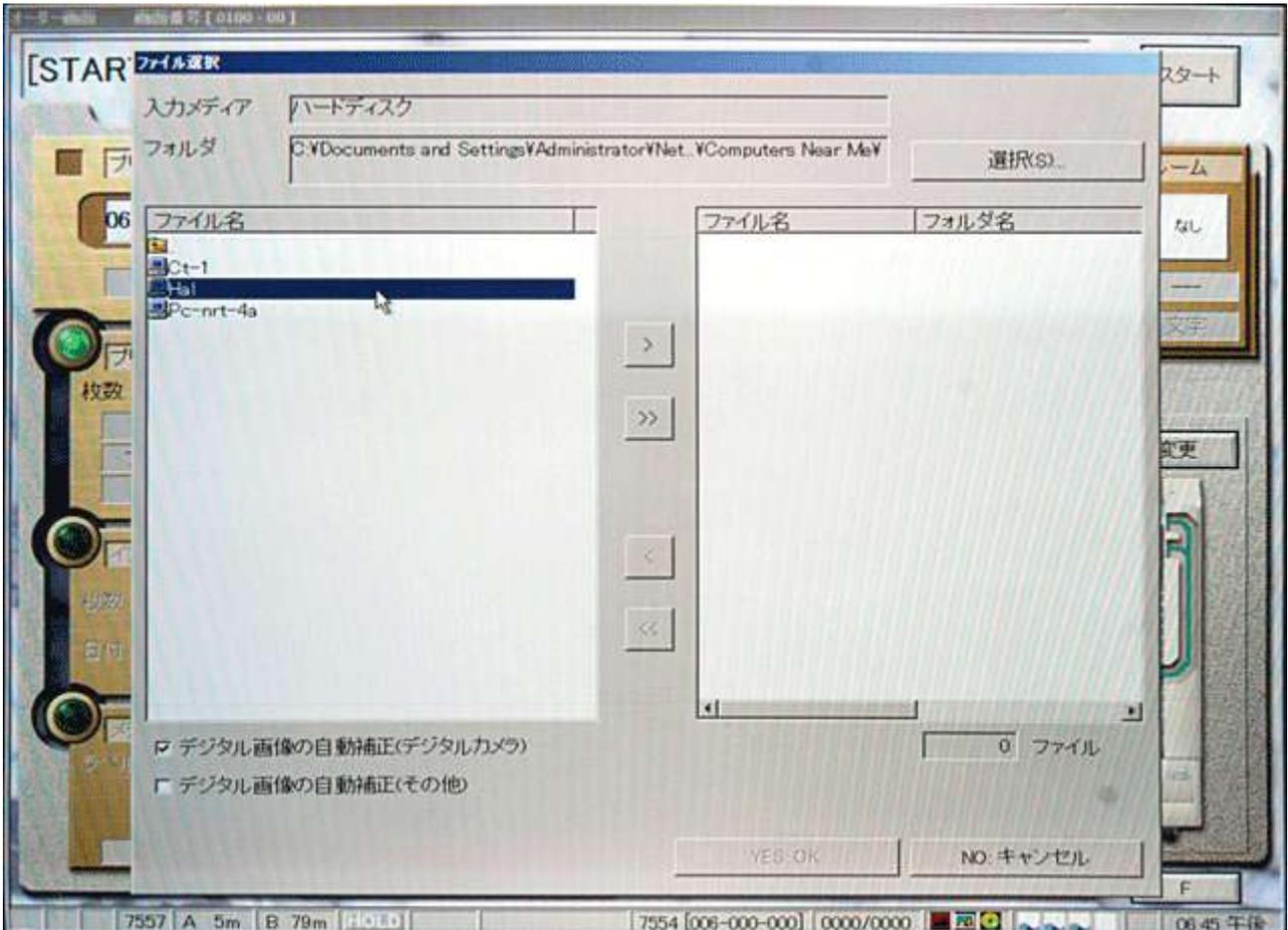


「いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします...」を選択します。

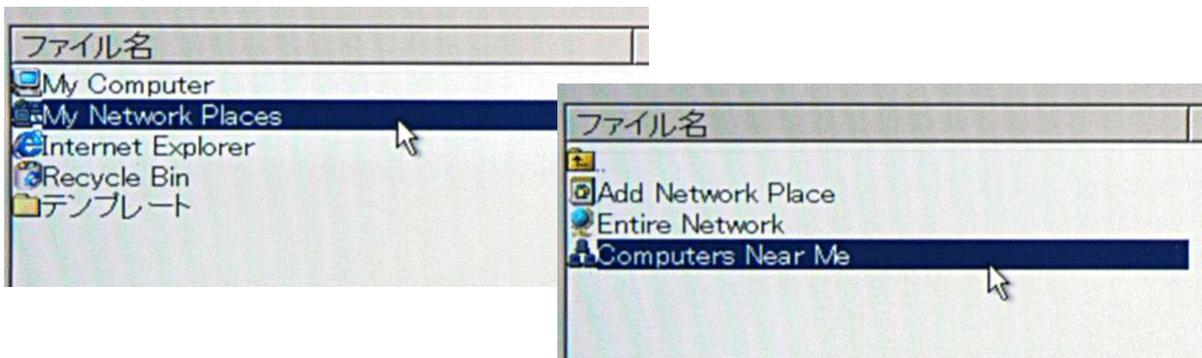
(4) ネットワーク共有されたフォルダのアイコンは以下のような形になります。



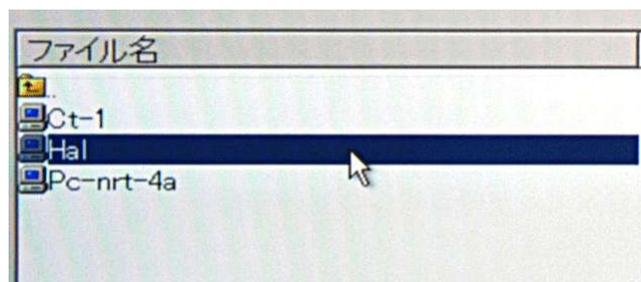
(5) 次に現像機の画面で入力ソースに【ハードディスク】を選択して【スタート】をクリックします。



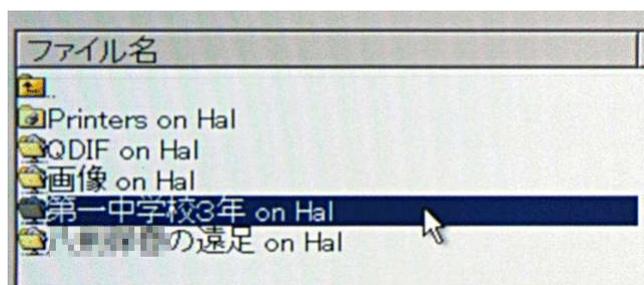
(6) 【My Network Places】から【Computer Near Me】を選択します。



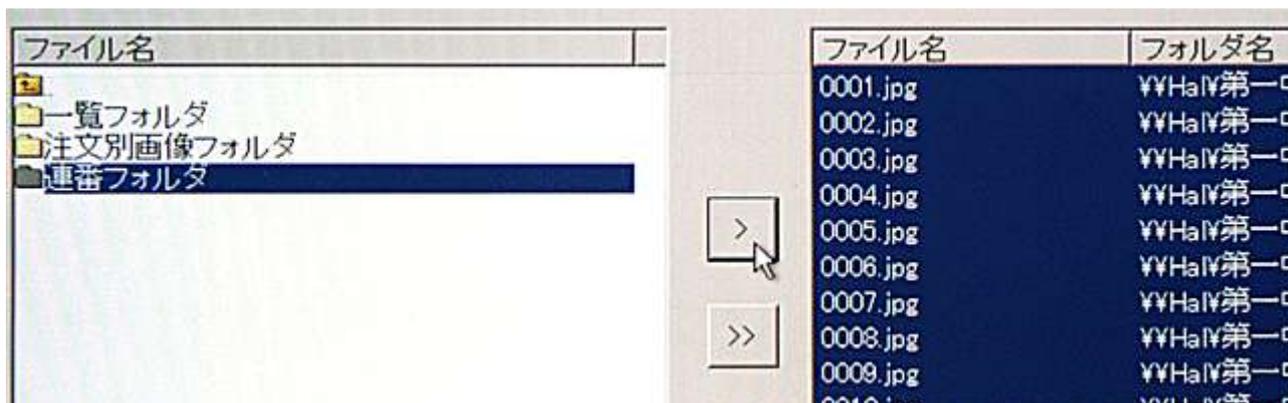
(7) 【Super 数ぐるめⅢ】でデータを保存したしたコンピューターをダブルクリックします。



(8) ネットワーク共有を設定したフォルダをダブルクリックします。



(9) 例えばサンプル写真を印刷するには[連番フォルダ]をクリックして選択してから中央の【>】ボタンをクリックすると、画像ファイルを一括して指定出来ます。

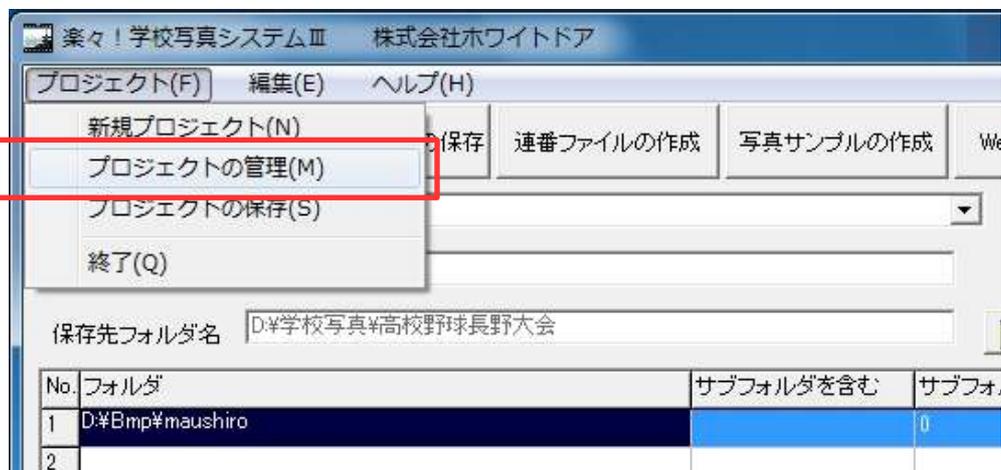


(10) 印刷が終わったらネットワーク共有を解除します。

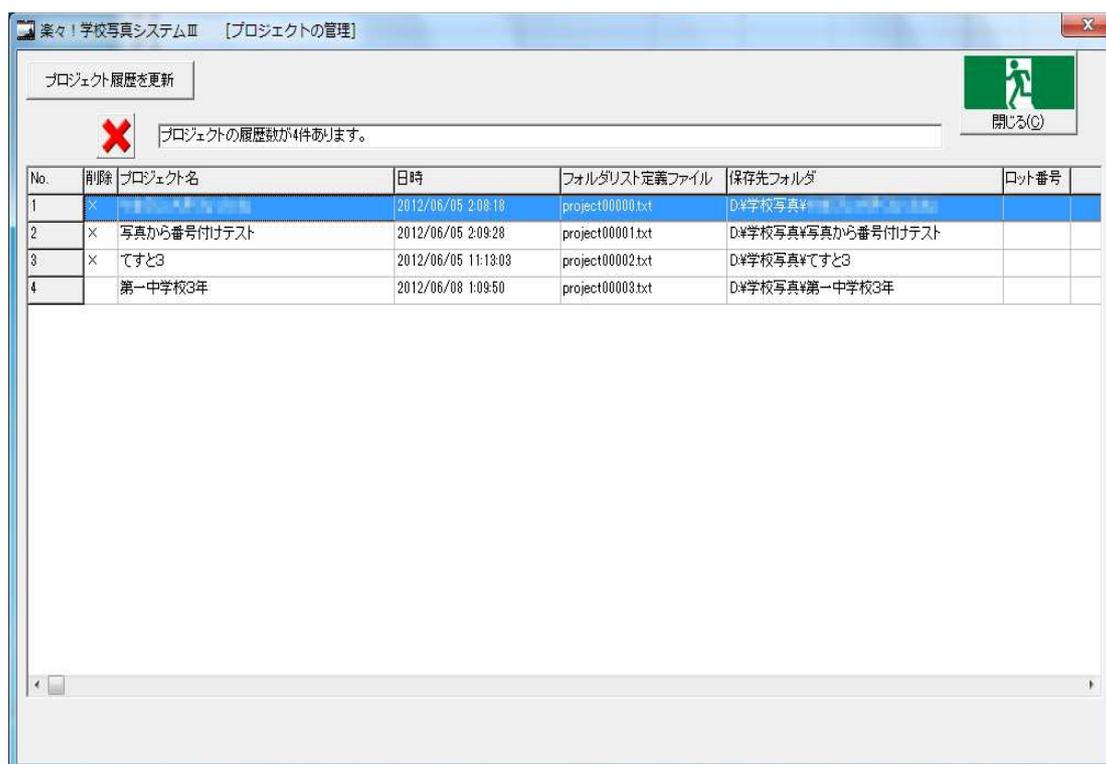
## 6. こんな時には

① プロジェクトの履歴が増えすぎたので整理したい。

(1) プロジェクトメニューから [プロジェクトの管理] を選択します。



(2) 管理画面が開きます。



(3) 履歴から削除したいプロジェクトを選択して上の[×]ボタンをクリックするか、もしくはリスト中のプロジェクト名の列をクリックすると左側の削除の列に×マークが付きます。

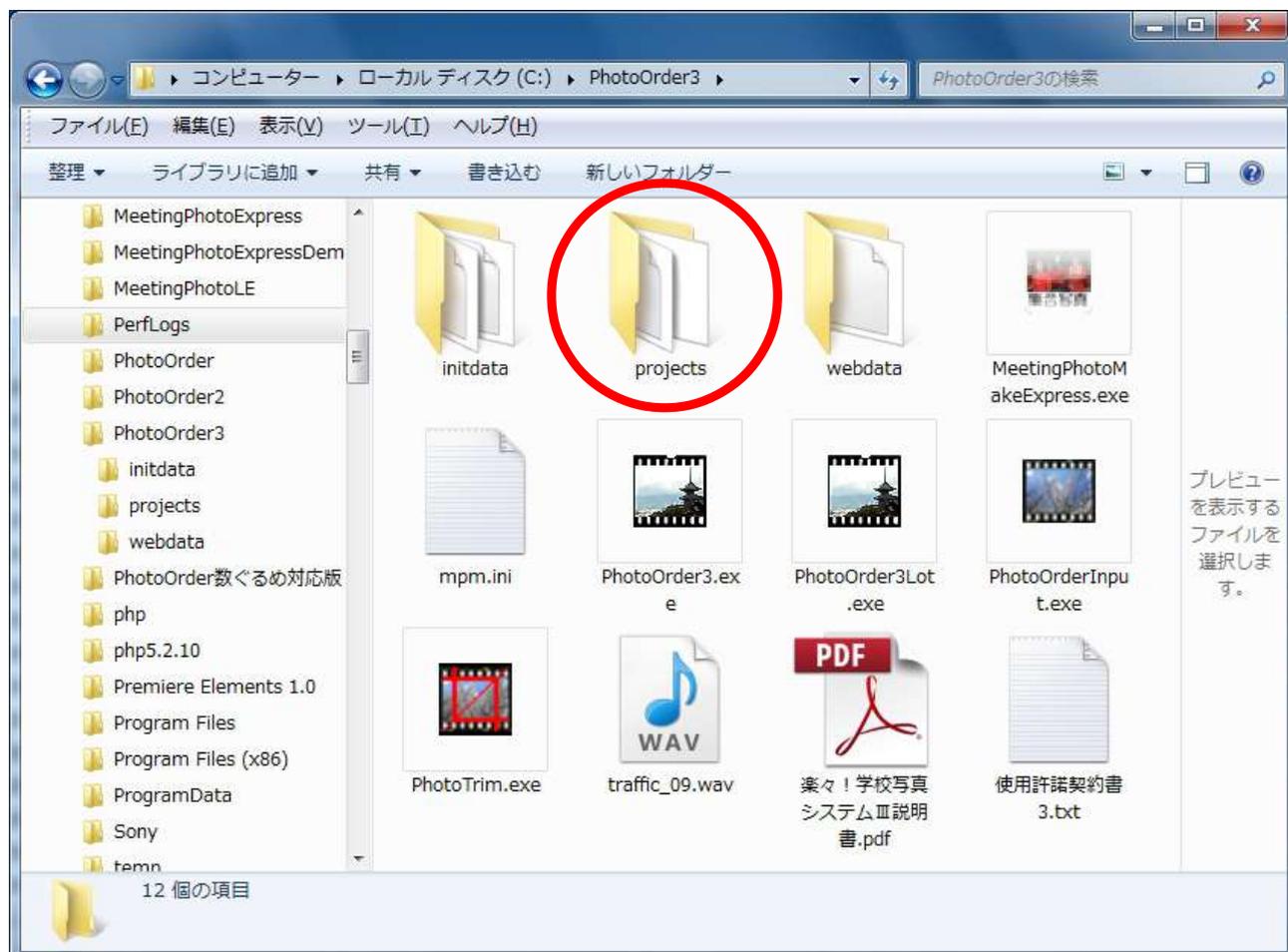
(4) 選択し終わったら [プロジェクト履歴を更新] ボタンをクリックします。

★ 変更対象は履歴の表示のみで、プロジェクトファイルや保存された画像ファイルなどは削除されません。(変更されるファイルは **work\_log.txt** のみです。)

## ② プロジェクトを全て削除したい

シーズンが終了したなど過去のプロジェクトを全部消したい場合には projects フォルダ以下のファイルを全削除してください。

**※ 必ずフォルダのバックアップを取ってください。**



## 7. 付属ツール

### 写真トリミングツール

[Super 数ぐるめⅢ] を [スタート] ⇒ [プログラム] ⇒ [Super 数ぐるめⅢ] ⇒ [写真トリミングツール] と辿ってメニュー開きクリックして起動します。



- ① 入力フォルダを指定します。サブフォルダ以下のファイルも処理対象になります。出力先フォルダを指定します。入力フォルダと違うフォルダを指定してください。出力フォルダを選択後に [フォルダ作成] ボタンでサブフォルダを作成出来ます。
- ② 縦横比から任意のサイズを選択します。
- ③ 必要なら [解像度縮小] にチェック入れて [縮小後サイズ] 一覧からいづれかの DPI を選択します。

#### オプション

- サブフォルダは検索しない      チェックすると入力フォルダ単階層のみ処理します。
- 元画像が 320px × 240px 以下はスキップ      チェックするとサムネイルのような小さい画像は処理しません。
- 解像度縮小      縮小処理が行われます。

サイズ寸法選択肢の下にある固定ピクセル寸法を選択した場合は、解像度縮小オプションが自動でチェックされます。DPI 指定は無効になり縮小時に指定のピクセル寸法に縮小されます。

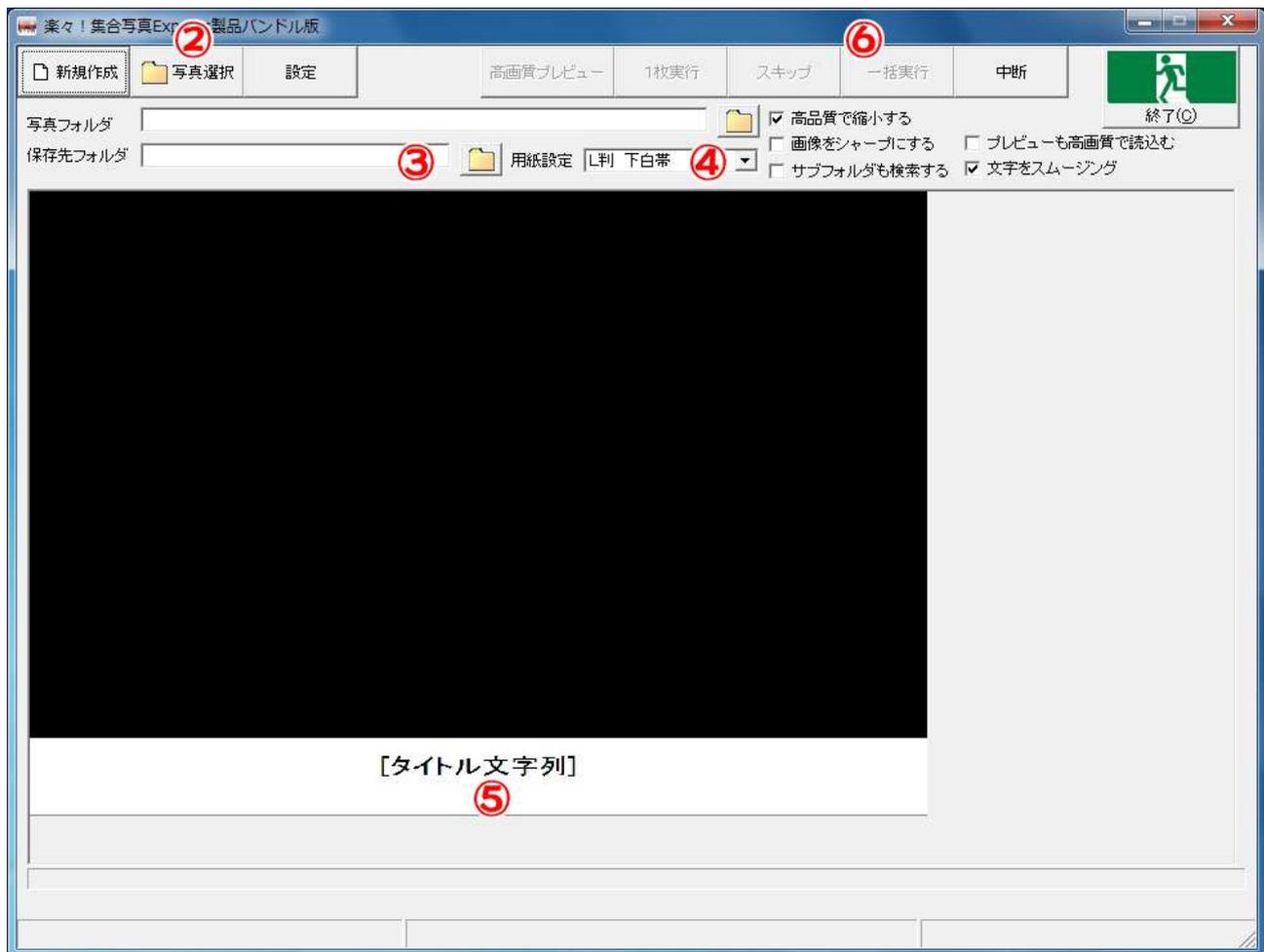
[ 実行 ] ボタンをクリックして実行します。

## 楽々！集合写真 Express バンドル版

当社製品の 楽々！集合写真 Express に制限を加えたバンドルソフトです。

フォルダ内の画像に対して一括で文字入れを行うソフトです。

- ① [Super 数ぐるめⅢ] を [スタート] ⇒ [プログラム] ⇒ [Super 数ぐるめⅢ] ⇒ [楽々！集合写真 Express バンドル版] と辿ってメニュー開きクリックして起動します。



文字入れ作業は、以下の②～⑥の流れで行います。上記画面の ②～⑥ のボタンなどを操作して処理を行います。

- ② 写真の選択
- ③ 保存先フォルダの選択
- ④ 用紙の選択
- ⑤ タイトル文字列の設定
- ⑥ 文字入れ処理を実行して画像ファイルを保存

## ② 写真の選択

メイン画面の[写真選択] ボタンをクリックします。



フォルダ参照ダイアログが開きますので、文字入れを行いたい写真画像のフォルダを選択します。OSがWindowsXP 以前の場合にはフォルダをドラッグアンドドロップする事もできます。

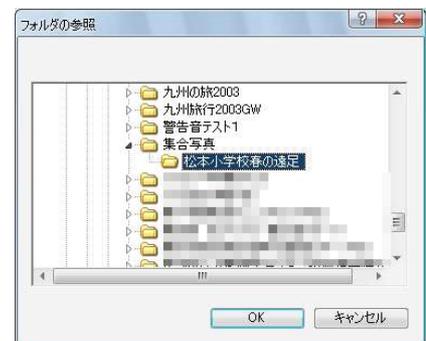
## ③ 保存先フォルダの設定

文字入れを行った画像の保存先フォルダを指定します。元の画像を上書きしないように写真フォルダと別のフォルダを選択してください。

保存先フォルダ欄の右のフォルダアイコンをクリックしフォルダ選択ダイアログを開いてフォルダを選択します。

OSがWindowsXP 以前の場合には、マイコンピュータやエクスプローラーで保存先フォルダのアイコンをドラッグし、メイン画面上にあ保存先フォルダの入力欄上にドロップすることもできます。

(下の画像の**赤枠**内)



#### ④ 用紙の設定

メイン画面の[用紙設定] コンボボックスの▼ボタンをクリックして一覧リストから用紙を選択します。

用紙サイズはL判・KG判・キャビネ判の3種類です。



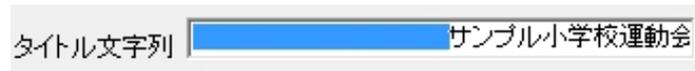
#### ⑤ 文字入れの設定

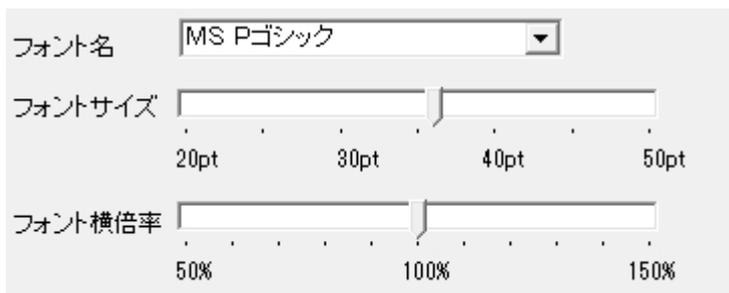
プレビュー画面下の[タイトル文字列]の文字の上で左クリックすると、文字列設定画面が開きます。



タイトル文字列欄に、学校名や行事名年月日などを入力します。

タイトル文字列は中央揃えで表示されるので年月日を右はじに寄せたい場合には全角スペースを行頭にに入れて調整します。





フォントの種類の変更は、[フォント名] 選択ボックスから行ってください。

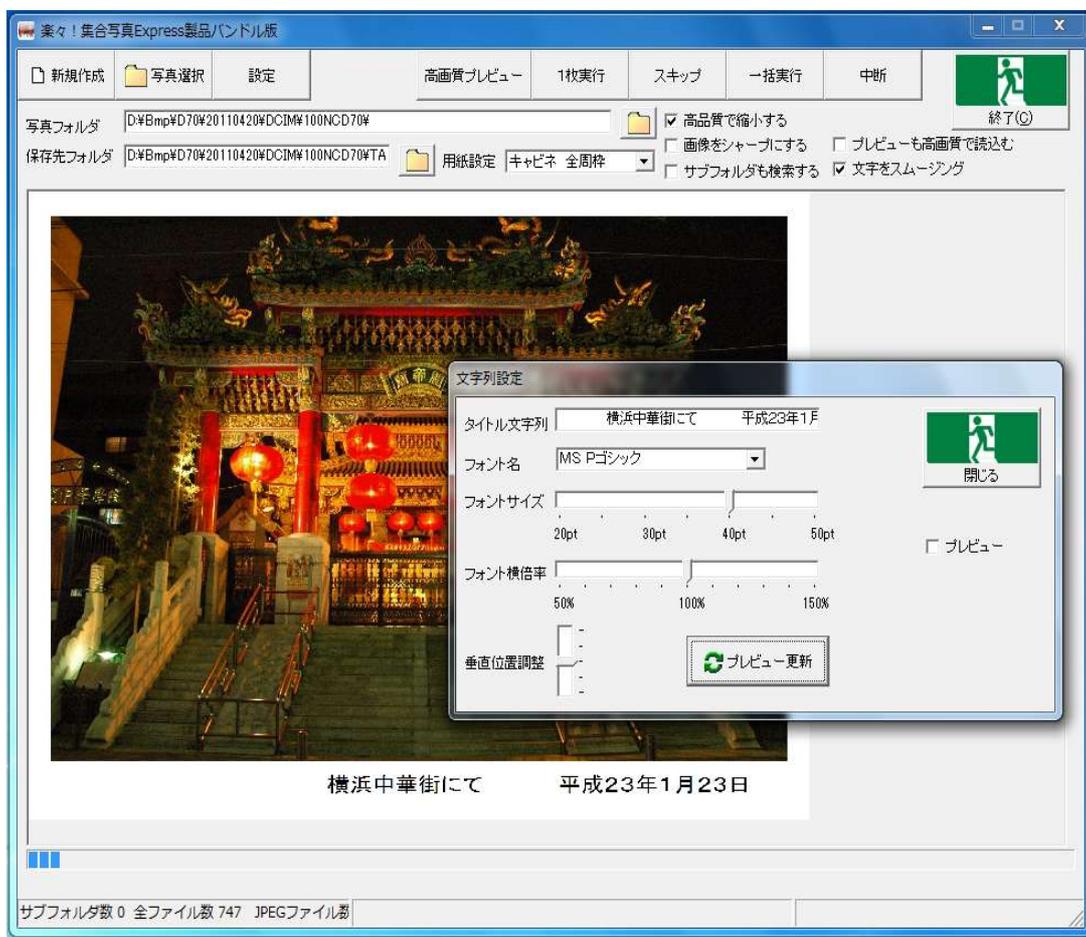
フォントが小さい場合には、フォントサイズのスライダーを動かして変更してください。

文字列が長くて画面からはみ出してしまう場合には、フォント横倍率のスライダーを動かして 100%より小さい値に変更すると文字列幅が縮まります。



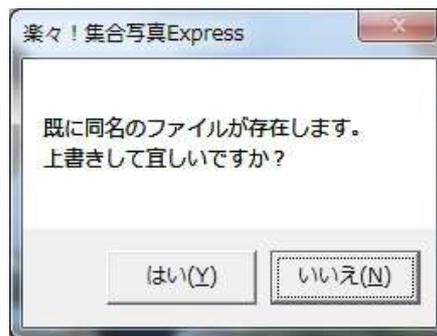
文字列の縦位置を微調整するには垂直位置調整のスライダーを動かして調整可能です。

下にある [プレビュー更新] ボタンをクリックすると、画面中央揃えで反映表示されます。



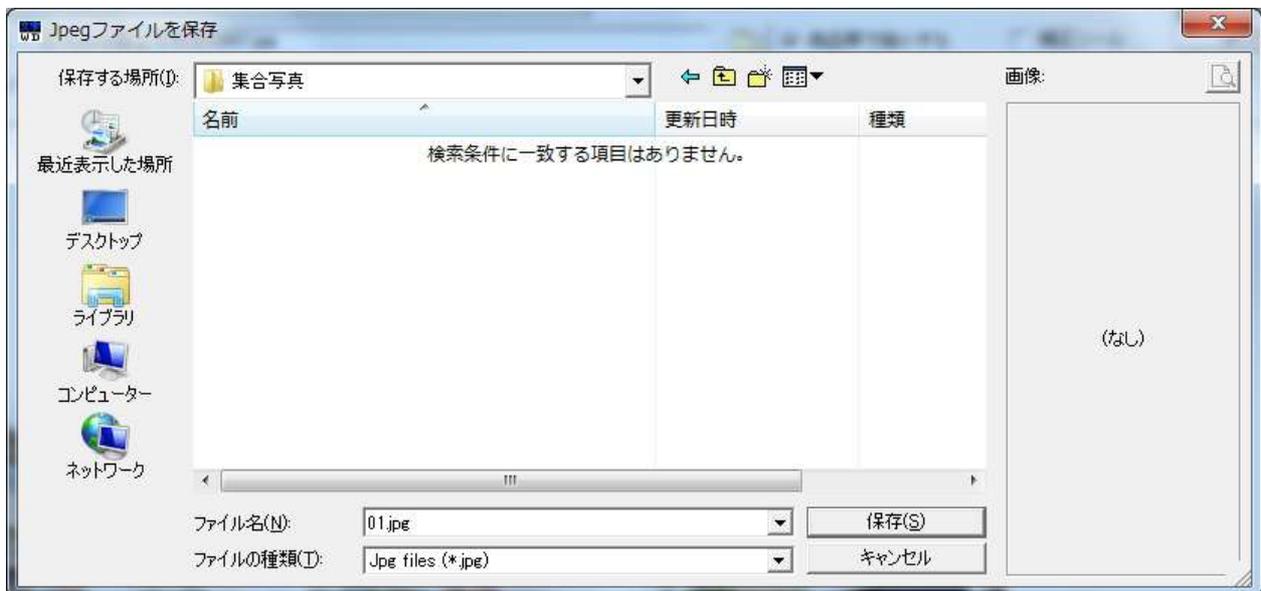
## ⑥ 実行

文字入れを行った画像ファイルを作成します。



保存先フォルダに元写真画像ファイルと同名のファイルが存在する場合には、上書き警告のダイアログが出ます。

保存先フォルダを変更するか別名で保存する場合には、[いいえ] を選択して保存先ファイル名などを変更してください。

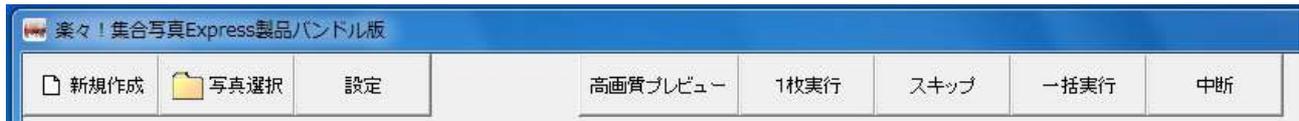


保存が完了すると完了ダイアログが表示されます。



## ⑦ メニュー

メイン画面の上部にあるツールボタンです。



### 新規作成

画像フォルダと保存先フォルダの設定と画像ファイルの一覧を初期化します。

### 写真選択

処理対象になる撮影した写真画像フォルダを選択します。

### 設定

設定を行います。

### 高画質プレビュー

通常のプレビューは処理を軽くするために、デスクトップの画面サイズに合わせた解像度に落としした小さい画像を使って表示しています。拡大や回転・移動を行った場合に表示が荒くなり位置が多少ずれますので、実際のサイズの元画像を使って処理を行った結果を表示します。

### 1枚実行

現在表示されている画像に枠入れと文字入れを行い保存します。

### スキップ

現在表示されている画像の文字入れ処理をスキップして次の画像に進みます。

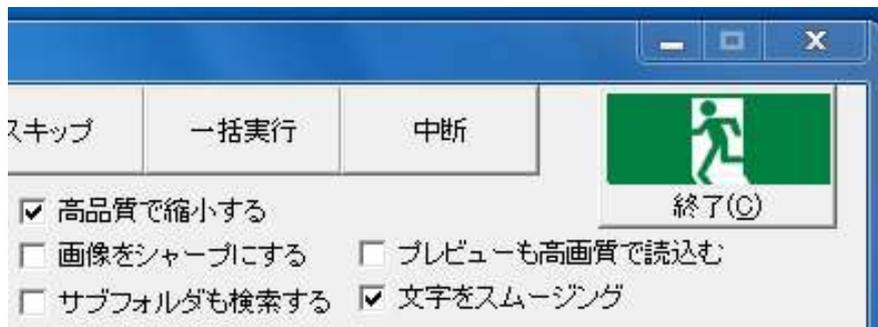
### 一括実行

現在表示されている画像以降を連続文字入れ処理します。

### 中断

一括実行中の場合、処理を中断します。

## ⑧ オプション



### 高品質で縮小する

縮小時にピクセル間を補間して縮小します。初期設定では有効になっています。

### 画像をシャープにする

縮小率によっては、縮小時にピントがボケたようになることがあります。有効にするとエッジを強調しますが、多少キツイ感じになります。

### サブフォルダも検索する

写真フォルダの直下に画像が無い場合に、チェックを入れてください。複数のフォルダに同名のファイルがある場合にはチェックしないでください。

### プレビューも高画質で読み込む

補正時には予め縮小したサムネイル画像を使って表示しますが、拡大時に粗くなりすぎる場合には有効にしてください。サムネイル画像作成時にピクセル間を補間して縮小します。

### 文字をスムージング

文字入れした文字の境界をぼかします。

## ⑨ 設定

メイン画面の[設定] を選択します。

### Jpeg画質

保存する jpeg の画質です。右にいくほど画質はよくなりますがファイルサイズは大きくなります。

### 非アクティブ時の透明度

楽々！集合写真がフォーカスを失った時にどのくらい後ろを透過するか設定します。

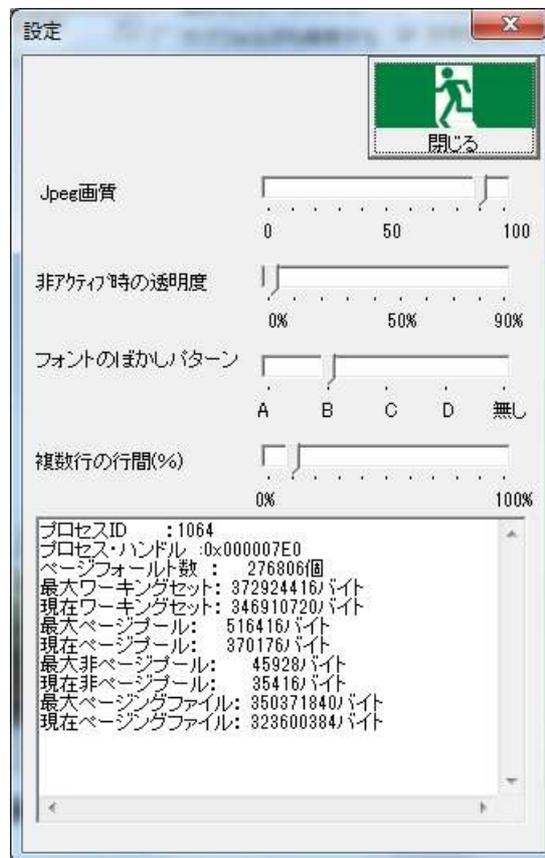
### フォントのぼかしパターン

フォントがかすれる場合に滑らかにする処理パターンを設定します。

### 複数行の間隔

複数行の行間設定です。

※ 画面下のテキストボックスにはメモリ使用量などの情報が表示されます。



## 株式会社 ウイスタ

〒174-0071  
東京都板橋区常盤台 4-6-14

E-mail: [wista@nifty.com](mailto:wista@nifty.com)